

泉大津沖埋立処分場等に係る
環境監視調査結果報告書
(令和6年8月分)

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I	泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地	1
1	環境監視結果の概要	1
1.1	処分場の受入量(表1-1)	1
	環境監視調査地点位置図(図1-1)	2
1.2	環境監視の実施状況	3
1.3	環境監視の結果	5
[1]	海域調査	5
(1)	水質	5
①	日調査	5
②	週調査	5
③	月調査	5
④	年4回調査	7
⑤	年2回調査	9
⑥	年1回調査	10
(2)	底質	10
①	年2回調査	10
(3)	海生生物	10
①	年4回調査	10
[2]	陸域調査	12
(1)	交通量	12
(2)	大気質	12
(3)	悪 臭	13
(4)	発生ガス	13
2	環境監視結果	15
	海域調査結果	15
	放流水の測定結果[日調査](表1-2)	16
	放流水、内水の測定結果[週調査](表1-3)	18
	基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果[月調査・年4回・年1回調査](表1-4)	19

一般項目及び生活環境項目	19
特殊項目	20
健康項目	21
ダイオキシン類	22
底質（海域）測定結果（表1-5）	23
植物プランクトン調査結果（表1-6）	24
動物プランクトン調査結果（表1-7）	25
魚卵調査結果（表1-8）	26
稚仔魚調査結果（表1-9）	26
底生生物調査結果（表1-10）	27
付着生物調査結果（表1-11，図1-2）	28
漁業生物調査結果（表1-12）	32
陸域調査結果	33
監視結果総括（交通量、大気質）（表1-13）	34
交通量調査結果（表1-14）	35
大気質調査結果（表1-15～21，図1-3～7）	36
悪臭調査結果（表1-22）	44
悪臭物質調査結果（表1-23）	45
発生ガス調査結果（表1-24）	46
 II 大阪基地	 47
1 環境監視結果の概要	49
1.1 環境監視の実施状況	49
1.2 環境監視の結果	49
（1）交通量	49
（2）大気質	50
（3）悪臭	50
 環境監視調査地点位置図（図2-1）	 51

2	環境監視結果	52
	監視結果総括（交通量、大気質）（表2-1）	52
	交通量調査結果（表2-2）	53
	大気質調査結果（表2-3～9，図2-2～6）	54
	悪臭結果（表2-10）	62

Ⅲ 堺基地 63

1	環境監視結果の概要	65
1.1	環境監視の実施状況	65
1.2	環境監視の結果	65
	（1）交通量	65
	（2）大気質	66
	（3）悪臭	66

	環境監視調査地点位置図（図3-1）	67
--	-------------------	----

2	環境監視結果	68
	監視結果総括（交通量、大気質）（表3-1）	68
	交通量調査結果（表3-2）	69
	大気質調査結果（表3-3～9，図3-2～6）	70
	悪臭調査（表3-10）	78

I 泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地

1 環境監視結果の概要

1.1 処分場の受入量

令和6年8月の大阪基地等4基地での廃棄物等の受入れ状況は表1－1に示すとおりである。泉大津沖埋立処分場では、泉大津基地に搬入の陸上残土 1,188.2 t、直接投入の陸上残土 15,940.0 t (残土10,884.0t, 購入残土5,056.0t)の合計 17,128.2tの受入れを行った。

表 1－1 廃棄物等の受入れ状況（令和6年8月分）

(単位：t)

廃棄物の種類			大阪 基地	堺基地	和歌山 基地	泉大津 基地	泉大津沖埋立処分場		
							直接投入	埋立処分量	
一 般 廃 棄 物	可燃ごみ（焼却灰）		9,099.8	7,426.7	1,539.7	—	—	—	
	ばいじん処理物		2,196.0	5,093.8	537.1	—	—	—	
	不燃・粗大ごみ		112.7	230.4	14.1	—	—	—	
	し尿処理汚泥			1.0	5.2	—	—	—	
	溶融処理物					—	—	—	
合 計			11,408.5	12,751.9	2,096.1	—	—	—	
産 業 廃 棄 物	汚 泥 水	上水汚泥	66.6	60.5	784.5	—	—	—	
		下水汚泥	279.3	1,416.3	45.2	—	—	—	
		合 計		345.9	1,476.8	829.7	—	—	—
	民 間 産 業 廃 棄 物	産 管 理 型	燃え殻	176.8	161.9	21.6	—	—	—
			汚泥	951.6	4,267.3	3.2	—	—	—
			鉋さい	641.5	183.7	3,614.4	—	—	—
			ばいじん	274.5	41.5	790.4	—	—	—
			その他の廃棄物	128.7	3.2	—	—	—	—
			廃プラスチック	119.4		—	—	—	—
			ゴムくず			—	—	—	—
			金属くず			—	—	—	—
			ガラス陶磁器くず	263.1		259.5	—	—	—
			がれき類	2,018.8		1,445.0	—	—	—
			小 計	4,574.4	4,657.6	6,134.1	—	—	—
		産 安 定 型	廃プラスチック	—	—	—	—	—	—
			ゴムくず	—	—	—	—	—	—
			金属くず	—	—	—	—	—	—
			ガラス陶磁器くず	—	—	—	—	—	—
			がれき類	—	—	—	—	—	—
			小 計	—	—	—	—	—	—
	合 計			4,574.4	4,657.6	6,134.1	—	—	—
	合 計			4,920.3	6,134.4	6,963.8	—	—	—
陸上残土	安 定 型	残土	—	—	—	1,188.2	10,884.0	12,072.2	
		購入残土	—	—	—	—	5,056.0	5,056.0	
		小 計	—	—	—	1,188.2	15,940.0	17,128.2	
	管 理 型	残土	1,253.2	159.0	—				
		購入残土	—	—	—				
		小 計	1,253.2	159.0	—				
浚渫土砂	安 定 型	浚渫土砂	—	—	—	—	—	—	
		無料浚土	—	—	—	—	—	—	
		小 計	—	—	—	—	—	—	
	管 理 型	浚渫土砂	—	—	—	—	—	—	
		無料浚土	—	—	—	—	—	—	
		小 計	—	—	—	—	—	—	
総 計			17,582.0	19,045.3	9,059.9	1,188.2	15,940.0	17,128.2	
(埋立量内訳)					振替量（安定型⇒管理型）		—	管理型	—
								安定型	17,128.2

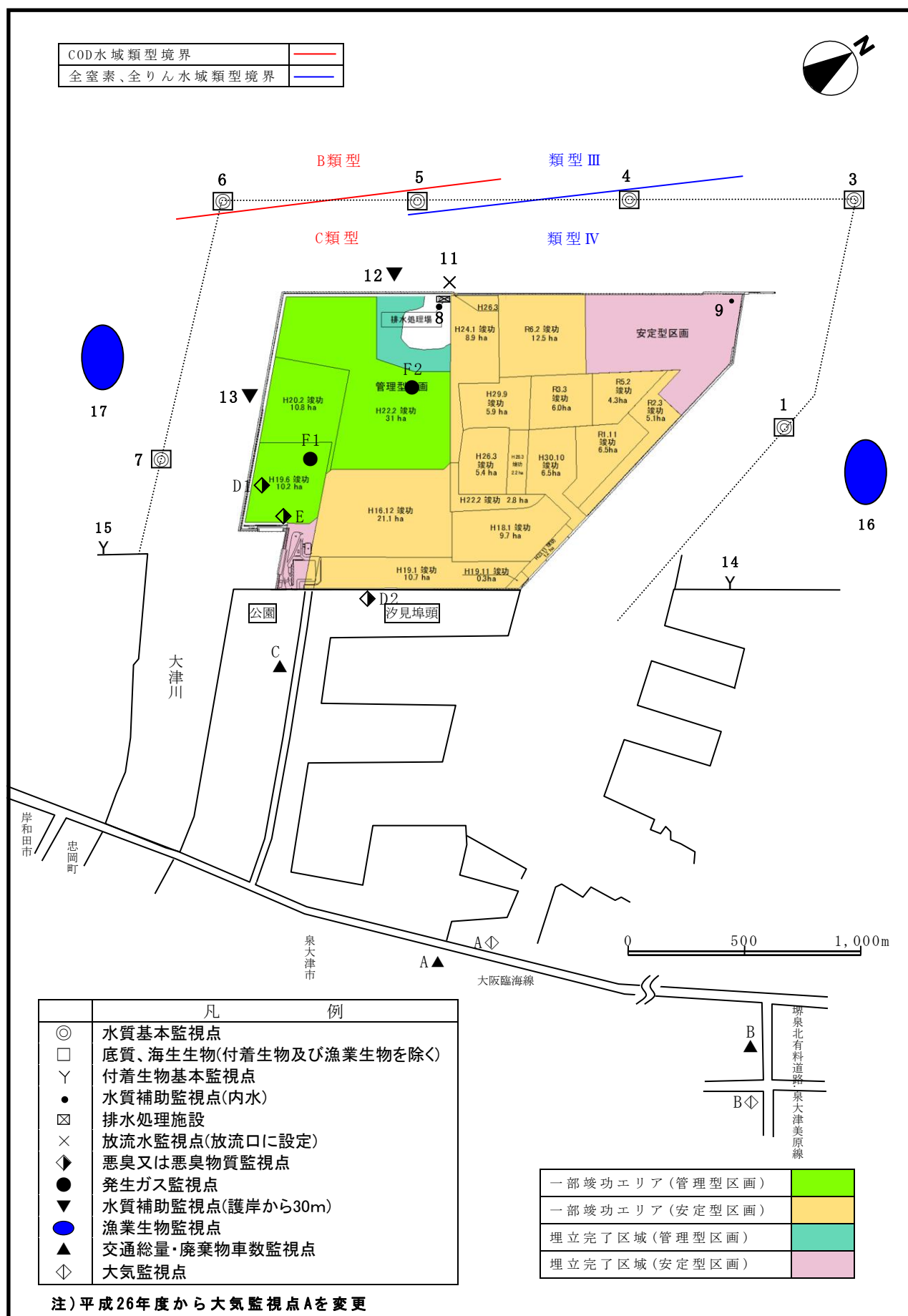


図 1 - 1 環境監視調査地点位置図 (泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地:令和6年8月)

1.2 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和6年8月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻 度	実 施 日
水 質	濁度、水温、COD(化学的酸素要求量)、DO(溶存酸素量)、pH	管理型排水処理施設放流水 (St. 11)	1 地点	連続測定	8/1～31 ^{注2}
	SS(浮遊物質質量)			週 1 回	8/8, 14, 20, 27 ^{注2}
	COD、pH、全窒素			月 1 回	8/8
	透明度、水温、SS、COD、DO、pH	補助監視点(内水) (St. 8, 9 ^{注1})	2 地点	週 1 回	8/8, 14, 20, 27
	クロロフィルa、FSS(不揮発性浮遊物質質量)、塩分			年 4 回	8/8
	濁度、透明度、水温 SS、クロロフィルa、FSS、 塩分、COD、DO、pH	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8 地点	月 1 回	8/8
	全窒素、全磷、 大腸菌数、大腸菌群数、 ノルマルヘキサン抽出物質 (注)大腸菌群数はSt. 8, 11のみ	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 8, 12, 13) 放流水 (St. 11)	10 地点	年 4 回	8/8
	フェノール類、銅、亜鉛、 総クロム、溶解性鉄、 溶解性マンガ、硝酸性窒素、 亜硝酸性窒素				
		補助監視点 (St. 9 ^{注1})	1 地点	年 1 回	8/8
	カドミウム、全シアン、有機燐、 鉛、六価クロム、砒素、 総水銀、アルギル水銀、 PCB、ジクロロメタン、 四塩化炭素、 1, 2-ジクロロエタン、 1, 1-ジクロロエチレン、 シス-1, 2-ジクロロエチレン、 1, 1, 1-トリクロロエタン、 1, 1, 2-トリクロロエタン、 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、 1, 3-ジクロロプロペン、 チウラム、シマジン、 チオベンカルブ、 ベンゼン、セレン、硝酸性窒素 及び亜硝酸性窒素、 ほう素、ふっ素、 1, 4-ジオキサン、アンモニア等、 クロロエチレン、 1, 2-ジクロロエチレン (注)有機燐及びほう素は St. 8, 9, 11のみ、クロロエチレン 及び1, 2-ジクロロエチレンは St. 12, 13のみ測定	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8 地点	年 2 回	8/8
		補助監視点 (St. 8)	1 地点	年 4 回	8/8
		放流水 (St. 11)	1 地点	年 4 回	8/8
		補助監視点 (St. 9 ^{注1})	1 地点	年 1 回	8/8
	ダイオキシン類	放流水 (St. 11) 補助監視点 (St. 8) 補助監視点 (St. 12, 13)	4 地点	年 4 回	8/8

注1) St.9は令和3年度より欠測とする。

注2) 8月19日(月)～31日(土)は、凝集沈殿槽及び汚泥濃縮槽修繕により施設停止で未放流。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻度	実施日
底質	含水率、粒度組成、 COD、強熱減量、 全窒素、硫化物、 全リン、カルシウム、シアン、 有機リン、鉛、六価クロム、 PCB、砒素、総水銀、 アルキル水銀、トリクロロエチレン、 テトラクロロエチレン、 銅、亜鉛、ふっ素	基本監視点 (St. 1, 3～7)	6 地点	年 2 回	8/9
海生生物	底生生物、プランクトン	基本監視点 (St. 1, 3～7)	6 地点	年 4 回	8/8～9
	魚卵・稚仔魚				8/9
	付着生物	St. 14, 15	2 地点		8/9
	漁業生物	St. 16, 17	2 地点		8/8～9
交通量	総交通量（2車種分類 ^{注)} ）	A, B, C	3 地点	年 4 回	8/27
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注)})			毎正時 (10時間)	
				全交通量	
騒音・振動	騒音レベル、振動レベル	A, B	2 地点	年 2 回 毎正時 (10時間)	—
大気質	二酸化硫黄、一酸化窒素、 二酸化窒素、浮遊粒子状 物質、風向・風速			年 4 回 1週間 (連続)	8/24～30
悪臭	臭気強度、臭気濃度	D 1, D 2	2 地点 風上・風下	年 2 回	8/28
	悪臭物質 (悪臭防止法22物質)	E	1 地点	年 1 回	8/28
発生ガス	メタン濃度	F 1, F 2	2 地点	年 2 回	8/28

注) 2車種分類とは、総交通量、廃棄物車とも大型車と大型車以外の2種とする。

その他大阪湾広域臨海環境整備センターが自主的に実施した令和6年8月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻度	実施日
水質	ノニルフェノール、 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩(LAS)	基本監視点 (St. 1, 3～7)	6地点	年 1 回	8/8

1.3 環境監視の結果

〔 1 〕 海域調査

(1) 水質

水質の調査結果を表 1－2～表 1－4 に示す。

① 日 調 査

放 流 水 （ 表 1 － 2 ）

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

濁度は 1～9 度(カリン)、COD は 17～21mg/L (管理基準値 60mg/L)、pH は 7.3～8.0 (管理基準値 5.0 以上 9.0 以下)であり、特に問題のない結果であった。

② 週 調 査

内 水 （ 表 1 － 3 ）

[管理型区画内水(St. 8)]

SS は 4～7mg/L、COD は 18～23mg/L であった。

[安定型区画内水(St. 9)]

令和 3 年度より欠測とする。

放 流 水 （ 表 1 － 3 ）

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

放流水の SS は 3～6mg/L (管理基準値 50mg/L) であった。

③ 月 調 査

海 域 （ 表 1 － 4 (1) ）

[基本監視点(St. 1, 3～7)]

(表層)

濁度は <1～2 度(カリン) (目安値 11 度(カリン))、FSS は <1～1mg/L (監視基準値 5mg/L)、COD は 1.4～4.9mg/L、DO は 4.9～7.5mg/L、pH は 8.0～8.4 であり、DO 及び pH 以外は特に問題のない結果であった。

なお、DO については、監視点 St. 6 (4.9mg/L) で環境基準 (B 類型 ; 5mg/L 以上) を下回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で 6.8～15mg/L であり、この最低値を下回っていたが、本調査と同一日に調査が実施された一部の周辺的环境基準点においても、DO が環境基準を下回っていたため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

また、pHについては、監視点St.1(8.4)で環境基準(C類型;7.0~8.3)を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で7.9~8.8であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(底層)

濁度は1~2度(カリン)(目安値9度(カリン))、FSSは<1~1mg/L(監視基準値7mg/L)、CODは1.1~1.8mg/L、DOは2.4~4.7mg/L、pHは7.9~8.0であり、DO以外は特に問題のない結果であった。

なお、DOについては、監視点St.6(4.7mg/L)で環境基準(B類型;5mg/L以上)を下回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は下層で<0.5~9.6mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(参考) 環境基準

St.1,3,4,5,7:C類型(COD 8 mg/L以下、DO 2 mg/L以上、pH 7.0~8.3)

St.6:B類型(COD 3 mg/L以下、DO 5 mg/L以上、pH 7.8~8.3)

[補助監視点(St.12,13)]

(表層)

CODは両監視点ともに1.7mg/L、DOは3.9及び3.5mg/L、pHは7.9及び8.0で、C類型環境基準を満足していた。

(底層)

CODは両監視点ともに1.3mg/L、DOは2.2及び2.3mg/L、pHは両監視点ともに7.9で、C類型環境基準を満足していた。

(参考) 環境基準

St.12,13:C類型(COD 8 mg/L以下、DO 2 mg/L以上、pH 7.0~8.3)

放流水(表1-4(1))

[管理型排水処理施設放流水(St.11)]

CODは19mg/L(管理基準値60mg/L)、pHは7.8(管理基準値5.0以上9.0以下)、全窒素は17mg/L(管理基準値60mg/L)であった。

④年4回調査

海域(表1-4(1)~(2)、表1-4(4))

[基本監視点(St.1,3~7)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は0.20~0.75mg/L、全リンは0.044~0.095mg/L、大腸菌数は1~

44CFU/100mL、ノルマルヘキサン抽出物質はいずれも報告下限値未満であり、全燐以外は特に問題のない結果であった。

なお、全燐については、監視点St. 6, 7 (0.069～0.095mg/L) で環境基準(類型Ⅲ; 0.05mg/L以下、類型Ⅳ; 0.09mg/L以下)を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で0.029～0.31mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(底層)

全窒素は 0.17～0.34mg/L、全燐は 0.044～0.086mg/Lであり、全燐以外は特に問題のない結果であった。

なお、全燐については、監視点St. 5, 6 (0.066～0.070mg/L) で環境基準(類型Ⅲ; 0.05mg/L以下)を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は下層で0.020～0.19mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(参考) 環境基準

St. 1, 3, 4, 7: 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L以下、全燐 0.09 mg/L以下)

St. 5, 6: 類型Ⅲ (全窒素 0.6 mg/L以下、全燐 0.05 mg/L以下)

St. 1, 3～7: 大腸菌数 (B・C類型は基準なし)

St. 6: n-ヘキサン抽出物質 (B類型 検出されないこと。C類型は基準なし。)

(特殊項目)

(表層)

亜鉛は 0.003～0.011mg/L、硝酸性窒素は <0.04～0.14mg/L、亜硝酸性窒素は <0.005～0.023mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

(底層)

銅は <0.001～0.001mg/L、亜鉛は 0.003～0.009mg/L、硝酸性窒素は <0.04～0.04mg/L、亜硝酸性窒素は 0.022～0.044mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

[補助監視点(St. 12, 13)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は 0.67及び0.39mg/L、全燐は 0.084及び0.095mg/L、大腸菌数は 8及び17CFU/100mL、ノルマルヘキサン抽出物質は両監視点ともに報告下限値未満であり、全燐以外は特に問題のない結果であった。

なお、全燐については、監視点St. 13 (0.095mg/L) で環境基準(類型Ⅳ; 0.09mg/L以下)を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で0.029～0.31mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(底層)

全窒素は 0.39及び0.33mg/L、全燐は 0.077及び0.097mg/Lであり、全燐以外は特に問題のない結果であった。

なお、全燐については、監視点St.13 (0.097mg/L) で環境基準 (類型Ⅳ ; 0.09mg/L以下) を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は下層で0.020~0.19mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(参考) 環境基準

St.12,13 : 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L以下、全燐 0.09 mg/L以下)

C 類型 (大腸菌数 基準なし、n-ヘキサン抽出物質 基準なし)

(特殊項目)

(表層)

亜鉛は 0.012及び0.008mg/L、硝酸性窒素は 0.05及び0.04mg/L、亜硝酸性窒素は 0.036及び0.027mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

(底層)

銅は <0.001及び0.002mg/L、亜鉛は 0.020及び0.008mg/Lであり、硝酸性窒素は 0.04及び0.05mg/L、亜硝酸性窒素は 0.040及び0.033mg/L、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は 0.091及び0.090pg-TEQ/L (SSは 2及び3mg/L)であり、環境基準 (1pg-TEQ/L以下) を満足していた。

内 水 (表 1 - 4 (1) ~ (4))

[管理型区画内水(St. 8)]

(一般項目)

FSSは 6mg/Lであった。

(生活環境項目)

全窒素は 17mg/L、全燐は 0.037mg/L、大腸菌数は <1CFU/100mL、大腸菌群数は 160個/cm³、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

(特殊項目)

フェノール類は 0.05mg/L、溶解性マンガンは 0.04mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(健康項目)

ほう素は 1.1mg/L、ふっ素は 1.3mg/L、アンモニア等は 6.4mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は 0.19pg-TEQ/L、SSは 7mg/Lであった。

放流水 (表 1 - 4 (1) ~ (4))

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

(生活環境項目)

全窒素は 17mg/L (管理基準値60mg/L)、全磷は 0.038mg/L (管理基準値8mg/L)、大腸菌数は 16CFU/100mL、大腸菌群数は 140個/cm³であり、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

(特殊項目)

フェノール類は 0.02mg/L、溶解性マンガンは 0.01mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(健康項目)

ほう素は 0.9mg/L、ふっ素は 1.3mg/L、アンモニア等は 6.4mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は 0.038pg-TEQ/L、SSは 6mg/Lで、ダイオキシン類の管理基準値 (10 pg-TEQ/L)、さらにSSの管理基準値 (50mg/L)を下回っていた。

⑤年 2 回調査

海 域 (表 1 - 4 (3))

[基本監視点(St. 1, 3~7)]

(健康項目)

砒素は 0.002~0.003mg/L、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は <0.045~0.15mg/L、ふっ素は 0.85~0.99mg/L、アンモニア等は <0.01~0.18mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

[補助監視点(St. 12, 13)]

(健康項目)

(表層)

砒素は両監視点ともに 0.003mg/L、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は 0.086及び0.067mg/L、ふっ素は両監視点ともに 0.87mg/L、アンモニア等は 0.13及び0.08mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(底層)

砒素は両監視点ともに 0.003mg/L、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は 0.080及び0.083mg/L、ふっ素は 0.91及び0.84mg/L、アンモニア等は両監視点ともに 0.13mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

⑥年 1 回調査

海 域（表 1－4（1））

〔基本監視点(St. 1, 3～7)〕

（生活環境項目：ノニルフェノール及び直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)）

ノニルフェノール及び直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)は、全監視点で報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

（参考）環境基準

St. 1, 3～7：海域生物A類型（ノニルフェノール $1\mu\text{g/L}$ 以下、
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS) $10\mu\text{g/L}$ 以下）

内 水（表 1－4（2）～（3））

〔安定型区画内水(St. 9)〕

令和3年度より欠測とする。

（2）底質

底質の調査結果を表 1－5 に示す。

①年 2 回調査

海 域（表 1－5（1）～（2））

〔基本監視点(St. 1, 3～7)〕

シルト分以下(シルト、粘土)の占める割合は 74.8～99.5%であった。その他の項目については、強熱減量が 6.3～12%、CODsedが 12～43mg/g乾泥、硫化物が 0.3～1.0mg/g乾泥、全窒素が 1,200～2,500mg/kg乾泥、全磷が 410～700mg/kg乾泥であった。

また、健康項目のうち、検出された項目は、カドミウムが 0.20～0.81mg/kg乾泥、鉛が 29～51mg/kg乾泥、砒素が 8.9～12mg/kg乾泥、総水銀が 0.13～0.98mg/kg乾泥、銅が 25～55mg/kg乾泥、亜鉛が 120～320mg/kg乾泥、ふっ素が 46～160mg/kg乾泥であった。

(3) 海生生物

海生生物の調査結果を表1-6～表1-12及び図1-2に示す。

①年4回調査

ア) 植物プランクトン (表1-6(1)～(2))

種類数が表層では27～32種類(総種類数49種類)、底層では22～29種類(総種類数42種類)の範囲にあり、細胞数は表層では952～2,792細胞/mL、底層では255～480細胞/mLの範囲であった。

イ) 動物プランクトン (表1-7)

種類数が25～33種類(総種類数40種類)の範囲にあり、個体数は22,243～116,604個体/m³の範囲であった。

ウ) 魚卵 (表1-8)

種類数が4～5種類(総種類数6種類)であり、個数は757～4,338個/1,000 m³の範囲であった。

エ) 稚仔魚 (表1-9)

種類数が3～8種類(総種類数9種類)の範囲にあり、個体数は19～156個体/1,000 m³の範囲であった。

オ) 底生生物 (表1-10)

種類数が1～11種類(総種類数15種類)の範囲にあり、個体数は5～84個体/0.1 m²の範囲であった。

カ) 付着生物 (表1-11(1)～(4))

[ベルトトランセクト法による観察]

種類数は植物が調査点14及び15ともに7種類、動物が調査点14で28種類、調査点15で27種類観察された。

鉛直分布では調査点14及び15ともに、動物のカンザシゴカイ科の被覆率が広範囲で高く、イソギンチャク目が広範囲で多くみられた。

[坪刈り調査]

植物は種類数が両地点で0～6種類(総種類数7種類)の範囲にあり、湿重量は0.1 g未満～1.7 g/0.09 m²の範囲にあった。動物は種類数が両地点で4～41種類(総種類数67種類)の範囲にあり、個体数は25～4,708個体/0.09 m²、湿重量は2.7～98.2 g/0.09 m²の範囲であった。

キ) 漁業生物 (表 1-12(1)～(2))

種類数は調査点16が 10種類、調査点17が 8種類 (総種類13種類)、個体数では調査点16が 27個体/網、調査点17が 19個体/網、さらに湿重量では調査点16が 9,069.8 g /網、調査点17が 10,904.6 g /網であった。

〔 2 〕 陸域 調査

交通量及び大気質の監視結果について、総括を表 1－13に、各測定・調査項目ごとの結果を表 1－14～表 1－21及び図 1－3～図 1－7に示す。

(1) 交通量（表 1－13、表 1－14）

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 A

時間交通量は 1,976～3,006台、廃棄物車の時間交通量は 0～6台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 27台/10hrで、総交通量(22,305台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 B

時間交通量は 528～1,058台、廃棄物車の時間交通量は 0～2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 3台/10hrで、総交通量(7,371台/10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 泉大津基地近傍の測定点 C

時間交通量は 193～337台、廃棄物車の時間交通量は 0～7台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 36台/10hrで、総交通量(2,808台/10hr)に占める割合は 1.3%であった。

(2) 大気質（表 1－15～表 1－21）

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 A

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東であり、平均風速は 1.9m/secであった。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 B

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東であり、平均風速は 1.1m/secであった。

(3) 悪臭（表 1－22～表 1－23）

①臭気濃度、臭気強度

悪臭の調査結果を表 1－22に示す。

臭気濃度及び臭気指数はD 1（風上）・D 2（風下）ともに <10であった。また臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

②悪臭物質

悪臭物質の調査結果を表 1－23に示す。

E 地点における悪臭物質の測定結果はすべて報告下限値未満であった。

(4) 発生ガス（表 1－24）

発生ガス調査結果を表 1－24に示す。

発生ガス中のメタン濃度はF 1 地点が 3.5ppm、F 2 地点が 9.9ppmであった。なお、環境大気中のメタン濃度はF 1 地点が 2.6ppm、F 2 地点が 3.1ppmであった。

F 1 地点についてはアスファルト舗装されているため、平成19年度の調査から高濃度の値が検出されていた。平成27年2月以降は低い値で推移していた。令和3年2月において近年では比較的高い値が検出されていたが、令和3年度以降は再び減少傾向に転じている。〔（参考：F1地点の濃度）H19年8月：380,000ppm(38%)、H20年8月：280,000ppm(28%)、H21年2月：160,000 ppm(16%)、H21年8月：220,000ppm(22%)、H22年2月：17,000ppm (1.7%)、H22年8月：37,000ppm(3.7%)、H23年2月：200,000ppm (20%)、H23年8月：380,000ppm(38%)、H24年2月：290,000ppm(29%)、H24年8月：58,000ppm(5.8%)、H25年2月：17,000ppm(1.7%)、H25年8月：42,000 ppm(4.2%)、H26年2月：15,000 ppm(1.5%)、H26年8月：6,400 ppm(0.6%)、H27年2月：2.0 ppm(0.0%)、H27年8月：2,200 ppm(0.2%)、H28年2月：440 ppm(0.0%)、H28年8月：920 ppm(0.1%)、H29年2月：2.5 ppm(0.0%)、H29年8月：170 ppm(0.0%)、H30年2月：110 ppm(0.0%)、H30年8月：3,600 ppm(0.4%)、H31年2月：16 ppm(0.0%)、R1年8月：350ppm(0.0%)、R2年2月：5.2ppm(0.0%)、R2年8月：1,800ppm(0.2%)、R3年2月：85,000ppm(8.5%)、R3年8月：34,000ppm(3.4%)、R4年2月：15,000ppm(1.5%)、R4年8月：300ppm(0.0%)、R5年2月：33ppm(0.0%)、R5年8月：34ppm(0.0%)、R6年2月：630ppm(0.0%)〕。

2 環境監視結果

海 域 調 査 結 果

表 1 - 2 放流水の測定結果[日調査] (令和6年8月)

測定日 (曜日)	濁 度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水 温 (℃) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
1(木)	1 ~ 2 (2)	30.6 ~ 31.4 (31.0)	17 ~ 17 (17)	3.7 ~ 4.7 (4.4)	7.6 ~ 7.7 (-)
2(金)	1 ~ 2 (2)	30.6 ~ 31.5 (31.0)	17 ~ 18 (17)	3.0 ~ 4.2 (3.6)	7.6 ~ 7.6 (-)
3(土)	1 ~ 2 (2)	30.9 ~ 31.7 (31.3)	17 ~ 18 (17)	2.3 ~ 3.7 (3.1)	7.5 ~ 7.5 (-)
4(日)	1 ~ 2 (2)	31.1 ~ 31.9 (31.5)	17 ~ 18 (17)	1.9 ~ 3.0 (2.6)	7.5 ~ 7.5 (-)
5(月)	1 ~ 2 (2)	30.3 ~ 32.0 (31.5)	17 ~ 18 (17)	1.7 ~ 3.7 (2.5)	7.4 ~ 7.5 (-)
6(火)	2 ~ 2 (2)	31.1 ~ 31.9 (31.5)	17 ~ 18 (17)	1.7 ~ 3.1 (2.5)	7.4 ~ 7.4 (-)
7(水)	2 ~ 3 (2)	30.9 ~ 31.9 (31.3)	17 ~ 18 (18)	1.2 ~ 3.8 (2.3)	7.3 ~ 7.5 (-)
8(木)	2 ~ 3 (2)	30.2 ~ 31.4 (30.8)	17 ~ 18 (18)	1.8 ~ 3.0 (2.4)	7.6 ~ 7.6 (-)
9(金)	2 ~ 3 (2)	30.0 ~ 31.1 (30.5)	17 ~ 18 (18)	1.5 ~ 2.8 (2.1)	7.6 ~ 7.6 (-)
10(土)	3 ~ 4 (3)	29.6 ~ 30.8 (30.2)	17 ~ 19 (18)	1.2 ~ 2.3 (1.7)	7.6 ~ 7.6 (-)
11(日)	3 ~ 3 (3)	29.1 ~ 30.3 (29.7)	18 ~ 18 (18)	0.6 ~ 1.8 (1.2)	7.6 ~ 7.7 (-)
12(月)	3 ~ 4 (3)	28.9 ~ 29.9 (29.3)	18 ~ 19 (18)	0.0 ~ 1.1 (0.3)	7.6 ~ 7.7 (-)
13(火)	3 ~ 5 (4)	28.4 ~ 30.2 (29.2)	18 ~ 19 (19)	0.0 ~ 3.3 (0.9)	7.6 ~ 7.7 (-)
14(水)	4 ~ 6 (5)	28.9 ~ 29.9 (29.4)	18 ~ 19 (19)	1.0 ~ 2.3 (1.7)	7.7 ~ 7.8 (-)
15(木)	4 ~ 8 (5)	29.2 ~ 30.1 (29.5)	18 ~ 20 (19)	0.0 ~ 1.9 (1.2)	7.5 ~ 7.7 (-)
16(金)	5 ~ 6 (5)	28.6 ~ 32.2 (29.2)	19 ~ 19 (19)	0.0 ~ 5.8 (1.4)	7.7 ~ 7.8 (-)

測定日 (曜日)	濁 度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水 温 (℃) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
17(土)	6 ~ 8 (7)	28.1 ~ 29.1 (28.5)	19 ~ 20 (19)	0.0 ~ 1.5 (0.6)	7.9 ~ 7.9 (-)
18(日)	7 ~ 9 (8)	27.9 ~ 28.9 (28.3)	20 ~ 21 (20)	0.0 ~ 0.2 (0.0)	7.9 ~ 8.0 (-)
19(月)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
20(火)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
21(水)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
22(木)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
23(金)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
24(土)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
25(日)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
26(月)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
27(火)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
28(水)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
29(木)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
30(金)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
31(土)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (※)	※ ~ ※ (-)
8 月 集計結果	1 ~ 9 (3)	27.9 ~ 32.2 (30.2)	17 ~ 21 (18)	0.0 ~ 5.8 (1.9)	7.3 ~ 8.0 (-)

注：()内は平均値を示す。

注：※項目は、凝集沈殿槽及び汚泥濃縮槽修繕により放流停止で未放流。

表 1 - 3 放流水、内水の測定結果 [週調査] (令和6年8月)

調 査 日	調査地点 (St.)		透明度 (m)	水 温 (℃)	SS (mg/L)	CODMn (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
8月8日 (木)	8		1.4	30.6	7	23	<0.5	8.2	17
	11		-	31.1	6	19	-	7.8	17
8月14日 (水)	8		1.0	28.8	4	19	<0.5	8.2	23
	11		-	29.7	3	-	-	-	29
8月20日 (火)	8		1.1	29.9	5	19	3.2	8.0	17
	11		-	※	※	-	-	-	※
8月27日 (火)	8		1.1	33.3	5	18	4.5	8.0	16
	11		-	※	※	-	-	-	※
	8		-	-	-	-	-	-	-
	11		-	-	-	-	-	-	-
集 計 結 果	調査地点 (St.)		透明度 (m)	水 温 (℃)	SS (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
	8	最大値	1.4	33.3	7	23	4.5	8.2	23
		最小値	1.0	28.8	4	18	<0.5	8.0	16
		平均値	1.2	30.7	5	20	2.2	-	18
	11	最大値	-	31.1	6	19	-	7.8	29
		最小値	-	29.7	3	-	-	-	17
		平均値	-	30.4	5	-	-	-	23
	[管理型内水]								
	[放流水]								

注: ※項目は、凝集沈殿槽及び汚泥濃縮槽修繕により放流停止で未放流。

表 1－4（1） 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
 [月調査・年４回・年１回調査]（一般項目及び生活環境項目）（令和6年8月）

調査年月日：令和6年8月8日

監視区分		基 本 監 視 点									内 水	放流水	補助監視点		
項目	地点番号	1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値	8	11	12	13
調査時刻	－	9:32	9:09	8:57	8:45	8:30	8:15	－	～	－	－	12:33	12:20	7:53	8:05
濁度 (度(カリン))	表層	2	2	<1	<1	<1	<1	<1	～	2	1	－	－	<1	<1
	底層	2	2	2	2	1	1	1	～	2	2			2	2
透明度 (m)	－	1.9	1.5	5.0	6.0	5.0	3.8	1.5	～	6.0	3.9	1.4	－	5.2	2.2
水温 (℃)	表層	28.6	26.5	24.4	24.8	24.4	25.5	24.4	～	28.6	25.7	30.6	31.1	23.9	24.3
	底層	22.9	22.8	22.8	22.8	22.8	22.8	22.8	～	22.9	22.8			22.8	22.8
S S (mg/L)	表層	4	3	2	2	2	3	2	～	4	3	7	6	1	3
	底層	2	2	1	2	2	2	1	～	2	2			2	3
クロロフィルa (μg/L)	表層	6	6	3	2	3	9	2	～	9	5	8	9	2	6
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－
F S S (mg/L)	表層	1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	～	1	1	6	4	<1	<1
	底層	1	1	<1	1	<1	<1	<1	～	1	1			1	1
塩分 (%)	表層	27.2	29.4	30.5	31.5	31.1	30.4	27.2	～	31.5	30.0	8.0	－	31.2	30.9
	底層	32.3	32.6	32.6	32.5	32.6	32.4	32.3	～	32.6	32.5			32.4	32.4
COD (mg/L)	表層	4.9	2.7	1.6	1.4	1.7	2.5	1.4	～	4.9	2.5	23	19	1.7	1.7
	底層	1.8	1.5	1.1	1.1	1.4	1.5	1.1	～	1.8	1.4			1.3	1.3
DO (mg/L)	表層	7.5	5.7	5.0	5.6	4.9	5.6	4.9	～	7.5	5.7	<0.5	2.4	3.9	3.5
	底層	2.4	4.1	4.4	2.5	4.7	2.4	2.4	～	4.7	3.4			2.2	2.3
p H	表層	8.4	8.1	8.0	8.0	8.0	8.1	8.0	～	8.4	－	8.2	7.8	7.9	8.0
	底層	7.9	8.0	8.0	7.9	8.0	7.9	7.9	～	8.0	－			7.9	7.9
全窒素 (mg/L)	表層	0.46	0.35	0.29	0.20	0.33	0.75	0.20	～	0.75	0.40	17	17	0.67	0.39
	底層	0.30	0.20	0.17	0.28	0.31	0.34	0.17	～	0.34	0.27			0.39	0.33
全磷 (mg/L)	表層	0.073	0.071	0.070	0.044	0.069	0.095	0.044	～	0.095	0.070	0.037	0.038	0.084	0.095
	底層	0.086	0.046	0.044	0.070	0.066	0.069	0.044	～	0.086	0.064			0.077	0.097
大腸菌数 (CFU/100mL)	表層	1	6	2	8	3	44	1	～	44	11	<1	16	8	17
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－
大腸菌群数 (個/cm ³)	表層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－	160	140	－	－
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－
ノルメチルヘキサン抽出物質 (mg/L)	表層	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－
ノニルフェノール (μg/L)	表層	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	～	<0.06	<0.06	－	－	－	－
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (μg/L)	表層	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	～	<0.1	<0.1	－	－	－	－
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－

注1) 採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

表 1 - 4 (2) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回調査] (特殊項目) (令和6年8月)

調査年月日：令和6年8月8日

監視区分		基 本 監 視 点								内 水	放流水	補助監視点			
項目	地点番	1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値	8	11	12	13
調査時刻	-	9:32	9:09	8:57	8:45	8:30	8:15	-	～	-	-	12:33	12:20	7:53	8:05
フェノール類 (mg/L)	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	～	<0.005	<0.005	0.05	0.02	<0.005	<0.005
	底層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	～	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005
銅 (mg/L)	表層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	～	<0.001	<0.001	<0.005	<0.005	<0.001	<0.001
	底層	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	～	0.001	0.001			<0.001	0.002
亜鉛 (mg/L)	表層	0.003	0.004	0.007	0.009	0.010	0.011	0.003	～	0.011	0.007	<0.005	<0.005	0.012	0.008
	底層	0.005	0.003	0.005	0.008	0.007	0.009	0.003	～	0.009	0.006			0.020	0.008
総クロム (mg/L)	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01
	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01
溶解性鉄 (mg/L)	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01	<0.08	<0.08	<0.01	<0.01
	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01
溶解性マンガン (mg/L)	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01	0.04	0.01	<0.01	<0.01
	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01
硝酸性窒素 (mg/L)	表層	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.14	<0.04	～	0.14	0.06	<0.04	<0.04	0.05	0.04
	底層	0.04	<0.04	<0.04	0.04	<0.04	0.04	<0.04	～	0.04	0.04			0.04	0.05
亜硝酸性窒素 (mg/L)	表層	<0.005	0.018	0.022	0.006	0.023	0.013	<0.005	～	0.023	0.015	<0.04	<0.04	0.036	0.027
	底層	0.044	0.027	0.033	0.043	0.022	0.036	0.022	～	0.044	0.034			0.040	0.033

注：採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

表 1 - 4 (3) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回・年 2 回調査] (健康項目) (令和6年8月)

											調査年月日：令和6年8月8日				
監視区分		基 本 監 視 点									内 水	放流水	補助監視点		
項目	地点番号	1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値	8	11	12	13
カドミウム	表層	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	<0.0003	<0.005	<0.005	<0.0003	<0.0003
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0003	<0.0003
全シアン	表層	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	～	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.1	<0.1
有機磷	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	<0.1	<0.1	—	—
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			—	—
鉛	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.005	<0.005	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
六価クロム	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
砒素	表層	0.002	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	～	0.003	0.003	<0.005	<0.005	0.003	0.003
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			0.003	0.003
総水銀	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	—	—
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			—	—
P C B	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
四塩化炭素	表層	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	表層	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	～	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
1,1,2-ジクロロエチレン	表層	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	～	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.004	<0.004
1,2-ジクロロエチレン	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.004	<0.004
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	表層	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	表層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	～	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002	<0.001	<0.001
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	表層	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0002	<0.0002
チウラム	表層	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0006	<0.0006
シマジン	表層	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
ベンゼン	表層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	～	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.001	<0.001
セレン	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.005	<0.005	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
1,4-ジオキサン	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	～	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/L)	表層	<0.045	0.058	0.062	0.046	0.063	0.15	<0.045	～	0.15	0.071	<0.08	<0.08	0.086	0.067
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			0.080	0.083
ほう素	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	1.1	0.9	—	—
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			—	—
ふっ素	表層	0.90	0.92	0.99	0.97	0.97	0.85	0.85	～	0.99	0.93	1.3	1.3	0.87	0.87
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			0.91	0.84
アンモニア等	表層	<0.01	0.04	0.05	0.02	0.06	0.18	<0.01	～	0.18	0.06	6.4	6.4	0.13	0.08
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			0.13	0.13
クロロエチレン	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0002	<0.0002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0002	<0.0002

注1：採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

注2：アルキル水銀は、総水銀が定量下限値未満であったため、分析していない。

注3：St. 8、St. 11は年 4 回調査である。

表 1 - 4 (4) 内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回調査] (ダイオキシン類) (令和6年8月)

調査年月日：令和6年8月8日

項 目	監視区分	管理型区画内水	放流水	補助監視点	
	地点番号	8	11	12	13
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.19	0.038	0.091	0.090
(管理基準値)	(pg-TEQ/L)	-	10	-	-
S S	(mg/L)	7	6	2	3
(管理基準値)	(mg/L)	-	50	-	-

注：毒性等価係数はWHO-TEF(2006)を適用した。

ダイオキシン類の毒性当量結果について

管理型区画内水、放流水：定量下限未満の測定値は実測濃度を0（ゼロ）として算出

補助監視点：検出下限以上の測定値はそのまま用い、検出下限未満の測定結果は検出下限の
1/2を用いて算出

表 1 - 5 (1) 底質（海域）測定結果〔年 2 回調査〕（令和 6 年 8 月）

(一般項目)			調査年月日：令和6年8月9日									
項目		採取地点	1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値
		単位										
調査時刻			10:33	10:25	10:11	10:02	9:40	9:25	—	～	—	—
泥温		(℃)	23.4	23.0	22.5	20.5	22.8	21.4	20.5	～	23.4	22.3
含水率		(%)	58	56	58	68	69	74	56	～	74	64
粒度組成	粗礫分 (19～75mm)	(%)	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—
	中礫分 (4.75～19mm)	(%)	1.0	0.1	—	—	—	—	0.1	～	1.0	0.6
	細礫分 (2～4.75mm)	(%)	2.1	0.0	0.1	—	0.1	—	0.0	～	2.1	0.6
	粗砂分 (0.85～2mm)	(%)	3.1	0.5	0.4	—	0.2	—	0.2	～	3.1	1.1
	中砂分 (0.25～0.85mm)	(%)	9.1	1.1	1.4	0.5	0.4	—	0.4	～	9.1	2.5
	細砂分 (0.075～0.25mm)	(%)	9.9	2.1	2.2	0.9	0.5	0.5	0.5	～	9.9	2.7
	シルト分 (0.005～0.075mm)	(%)	51.9	56.5	69.4	79.8	81.6	80.1	51.9	～	81.6	69.9
	粘土分 (0.005mm以下)	(%)	22.9	39.7	26.5	18.8	17.2	19.4	17.2	～	39.7	24.1
	シルト分以下 (0.075mm以下)	(%)	74.8	96.2	95.9	98.6	98.8	99.5	74.8	～	99.5	94.0
強熱減量 (I.L)		(%)	6.3	8.8	9.1	10	11	12	6.3	～	12	9.6
化学的酸素要求量 (COD _{sed})		(mg/g乾泥)	14	12	17	30	31	43	12	～	43	25
硫化物 (T-S)		(mg/g乾泥)	0.3	0.4	0.4	0.6	0.5	1.0	0.3	～	1.0	0.5
全窒素 (T-N)		(mg/kg乾泥)	1200	1400	2200	2500	2000	2300	1200	～	2500	1900
全磷 (T-P)		(mg/kg乾泥)	410	420	510	660	540	700	410	～	700	540

表 1 - 5 (2) 底質（海域）測定結果〔年 2 回調査〕（令和 6 年 8 月）

(健康項目)			調査年月日：令和6年8月9日									
採取地点		項目 単位	1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値
カドミウム	(mg/kg乾泥)		0.32	0.20	0.43	0.81	0.81	0.69	0.20	～	0.81	0.54
シアン	(mg/kg乾泥)		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	～	<0.1	<0.1
有機燐	(mg/kg乾泥)		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	～	<0.1	<0.1
鉛	(mg/kg乾泥)		29	29	41	51	45	45	29	～	51	40
六価クロム	(mg/kg乾泥)		<2	<2	<2	<2	<2	<2	<2	～	<2	<2
砒素	(mg/kg乾泥)		12	9.2	11	11	10	8.9	8.9	～	12	10
総水銀	(mg/kg乾泥)		0.13	0.39	0.58	0.98	0.35	0.47	0.13	～	0.98	0.48
アルキル水銀	(mg/kg乾泥)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01
トリクロロエチレン	(mg/kg乾泥)		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	～	<0.05	<0.05
テトラクロロエチレン	(mg/kg乾泥)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01
P C B	(mg/kg乾泥)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01
銅	(mg/kg乾泥)		25	25	35	49	45	55	25	～	55	39
亜鉛	(mg/kg乾泥)		150	120	210	320	280	270	120	～	320	230
ふっ素	(mg/kg乾泥)		46	55	150	160	130	140	46	～	160	110

表 1－6（1） 植物プランクトン調査結果（表層）（令和6年8月）

調査期日：令和6年8月8日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	27	30	31	30	32	31	49
細胞数（細胞/mL）	2,792	1,052	990	952	997	2,510	1,549
沈殿量（mL/L）	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
主 要 種 ^{注2)} 細胞数（%）	キートクロス属 948（34.0）	キートクロス属 306（29.1）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 264（26.7）	キートクロス属 240（25.2）	キートクロス属 294（29.5）	キートクロス属 1,020（40.6）	キートクロス属 503（32.5）
	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 690（24.7）	クリプト藻綱 168（16.0）	キートクロス属 210（21.2）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 204（21.4）	クリプト藻綱 240（24.1）	ニッチア属 642（25.6）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 252（16.3）
	リゾ [®] ソレニア フタキ [®] リシマ 528（18.9）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 138（13.1）	クリプト藻綱 132（13.3）	クリプト藻綱 156（16.4）	ニッチア属 78（7.8）	タラシオシラ属 144（5.7）	ニッチア属 194（12.5）
	クリプト藻綱 156（5.6）	ニッチア属 102（9.7）	ニッチア属 108（10.9）	ニッチア属 90（9.5）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 72（7.2）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 144（5.7）	クリプト藻綱 160（10.3）
	ニッチア属 144（5.2）	リゾ [®] ソレニア フタキ [®] リシマ 84（8.0）	タラシオネマ ニッチオイデ [®] ス 66（6.7）	スケルトネマ コスタツム 60（6.3）	スケルトネマ コスタツム 60（6.0）	リゾ [®] ソレニア フタキ [®] リシマ 120（4.8）	リゾ [®] ソレニア フタキ [®] リシマ 147（9.5）
				リゾ [®] ソレニア フタキ [®] リシマ 60（6.3）	タラシオシラ属 60（6.0）		

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位5種を示す。

表 1－6（2） 植物プランクトン調査結果（底層）（令和6年8月）

調査期日：令和6年8月8日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	22	27	25	22	29	24	42
細胞数（細胞/mL）	442	423	407	332	480	255	390
沈殿量（mL/L）	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
主 要 種 ^{注2)} 細胞数（%）	キートクロス属 156（35.3）	キートクロス属 162（38.3）	キートクロス属 156（38.3）	キートクロス属 114（34.3）	キートクロス属 156（32.5）	キートクロス属 54（21.2）	キートクロス属 133（34.1）
	クリプト藻綱 84（19.0）	クリプト藻綱 66（15.6）	ニッチア属 54（13.3）	クリプト藻綱 42（12.7）	ニッチア属 60（12.5）	クリプト藻綱 48（18.8）	クリプト藻綱 54（13.9）
	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 54（12.2）	ニッチア属 60（14.2）	クリプト藻綱 42（10.3）	スケルトネマ コスタツム 42（12.7）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 54（11.3）	ニッチア属 42（16.5）	ニッチア属 50（12.8）
	ニッチア属 48（10.9）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 48（11.3）	タラシオシラ属 36（8.8）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 42（12.7）	クリプト藻綱 42（8.8）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 36（14.1）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 44（11.3）
	スケルトネマ コスタツム 36（8.1）	タラシオシラ属 14（3.3）	リゾ [®] ソレニア セティケ [®] ラ 30（7.4）	ニッチア属 36（10.8）	ニッチア ブ [®] ンケ [®] ンス 37（7.7）	ニッチア ブ [®] ンケ [®] ンス 15（5.9）	スケルトネマ コスタツム 23（5.9）

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位5種を示す。

表 1 - 7 動物プランクトン調査結果 (令和6年8月)

調査期日：令和6年8月8日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	25	30	27	28	33	27	40
個体数 (個体/m ³)	68,464	43,337	61,234	56,143	116,604	22,243	61,338
沈殿量 (mL/m ³)	17.1	9.1	10.9	5.8	9.5	3.0	9.2
主 要 種 ^{注2)} 個体数 (%)	カイアシ類の ノープリウス 期幼生 19,420 (28.4)	ツボ・ワムシ属 15,400 (35.5)	カイアシ類の ノープリウス 期幼生 18,145 (29.6)	カイアシ類の ノープリウス 期幼生 16,200 (28.9)	カイアシ類の ノープリウス 期幼生 40,625 (34.8)	オイトナ ダウ・イセー 6,522 (29.3)	カイアシ類の ノープリウス 期幼生 18,268 (29.8)
	オイトナ ダウ・イセー 11,384 (16.6)	カイアシ類の ノープリウス 期幼生 10,000 (23.1)	オイトナ ダウ・イセー 8,065 (13.2)	オイトナ ダウ・イセー 8,400 (15.0)	アカルチア シンジ・エンシス 25,391 (21.8)	カイアシ類の ノープリウス 期幼生 5,217 (23.5)	オイトナ ダウ・イセー 8,347 (13.6)
	オイトナ属の コヘ・ボ・テ・イト 期幼生 7,589 (11.1)	オイトナ ダウ・イセー 3,600 (8.3)	ツボ・ワムシ属 7,056 (11.5)	アカルチア シンジ・エンシス 6,800 (12.1)	オイトナ ダウ・イセー 12,109 (10.4)	フリチルリア属 2,174 (9.8)	アカルチア シンジ・エンシス 7,925 (12.9)
	ツボ・ワムシ属 7,366 (10.8)	アカルチア シンジ・エンシス 3,000 (6.9)	アカルチア シンジ・エンシス 5,040 (8.2)	アカルチア属の コヘ・ボ・テ・イト 期幼生 5,400 (9.6)	トケ・ナシエホ・シミ・ンコ 7,422 (6.4)	オイトナ属の コヘ・ボ・テ・イト 期幼生 1,957 (8.8)	ツボ・ワムシ属 6,332 (10.3)
	アカルチア シンジ・エンシス 5,580 (8.2)	オイトナ属の コヘ・ボ・テ・イト 期幼生 2,800 (6.5)	フリチルリア属 3,427 (5.6)	トケ・ナシエホ・シミ・ンコ 4,800 (8.5)	オイトナ属の コヘ・ボ・テ・イト 期幼生 7,227 (6.2)	アカルチア シンジ・エンシス 1,739 (7.8)	オイトナ属の コヘ・ボ・テ・イト 期幼生 4,600 (7.5)
				オイトナ属の コヘ・ボ・テ・イト 期幼生 4,800 (8.5)			

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1－8 魚 卵 調 査 結 果 （令和6年8月）

調査年月日：令和6年8月9日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	4	5	4	5	5	5	6
個数(個/1000m ³)	781	1,239	757	4,338	872	1,436	1,571
主 要 種 ^{注2)} 個数 (%)	単脂卵 (0.58～0.70mm) 445 (57.0)	単脂卵 (0.58～0.70mm) 790 (63.8)	カタクチイワシ 566 (74.8)	カタクチイワシ 4,051 (93.4)	カタクチイワシ 722 (82.8)	単脂卵 (0.58～0.70mm) 789 (54.9)	カタクチイワシ 1,108 (70.5)
	カタクチイワシ 324 (41.5)	カタクチイワシ 433 (34.9)	単脂卵 (0.58～0.70mm) 115 (15.2)	単脂卵 (0.58～0.70mm) 190 (4.4)	単脂卵 (0.58～0.70mm) 106 (12.2)	カタクチイワシ 549 (38.2)	単脂卵 (0.58～0.70mm) 406 (25.8)
	サッパ 8 (1.0)	ネズッコ科 7 (0.6)	ネズッコ科 67 (8.9)	ネズッコ科 82 (1.9)	ネズッコ科 40 (4.6)	ネズッコ科 76 (5.3)	ネズッコ科 46 (2.9)
	ネズッコ科 4 (0.5)	サッパ 7 (0.6)	多脂卵 (0.75～0.77mm) 9 (1.2)	多脂卵 (0.75～0.77mm) 10 (0.2)	多脂卵 (0.75～0.77mm) 2 (0.2)	サッパ 17 (1.2)	サッパ 7 (0.4)
		コノシロ 2 (0.2)		サッパ 5 (0.1)	サッパ 2 (0.2)	多脂卵 (0.75～0.77mm) 5 (0.3)	多脂卵 (0.75～0.77mm) 4 (0.3)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1－9 稚 仔 魚 調 査 結 果 （令和6年8月）

調査年月日：令和6年8月9日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	3	3	5	8	3	6	9
個数(個/1000m ³)	19	58	41	83	51	156	68
主 要 種 ^{注2)} 個数 (%)	サッパ 13 (68.4)	サッパ 46 (79.3)	カタクチイワシ 16 (39.0)	サッパ 23 (27.7)	ネズッコ科 28 (54.9)	ネズッコ科 86 (55.1)	サッパ 28 (40.4)
	アミメハギ 4 (21.1)	ナベカ 10 (17.2)	サッパ 12 (29.3)	カタクチイワシ 21 (25.3)	サッパ 21 (41.2)	サッパ 50 (32.1)	ネズッコ科 22 (32.1)
	ハゼ科 2 (10.5)	不明孵化仔魚 2 (3.4)	ハゼ科 9 (22.0)	ネズッコ科 15 (18.1)	カタクチイワシ 2 (3.9)	ナベカ 5 (3.2)	カタクチイワシ 7 (10.8)
			ナベカ 2 (4.9)	アミメハギ 8 (9.6)		不明孵化仔魚 5 (3.2)	ナベカ 4 (5.4)
			ネズッコ科 2 (4.9)	ナベカ 5 (6.0)		カタクチイワシ 5 (3.2)	ハゼ科 4 (5.1)
				ハゼ科 5 (6.0)		ハゼ科 5 (3.2)	

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1－10 底生生物調査結果（令和6年8月）

調査期日：令和6年8月9日

項目	調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	軟体動物門	2	2		3	2	1	4
	環形動物門	9	6	6	3	2		10
	節足動物門							
	その他				1			1
	合計	11	8	6	7	4	1	15
個体数	軟体動物門	2	7		10	2	5	4
	環形動物門	82	46	60	24	6		36
	節足動物門							
	その他				1			<1
	合計	84	53	60	35	8	5	41
個体構成比 (%)	軟体動物門	2.4	13.2		28.6	25.0	100.0	10.6
	環形動物門	97.6	86.8	100.0	68.6	75.0		89.0
	節足動物門							
	その他				2.9			0.4
	合計							
湿重量 (g)	軟体動物門	0.05	0.34		0.04	0.03	0.01	0.08
	環形動物門	0.57	0.34	0.19	0.16	0.04		0.22
	節足動物門							
	その他				+			+
	合計	0.62	0.68	0.19	0.20	0.07	0.01	0.30
主要種 ^{注2)} 個体数 (%)		バ'ラフ'リオノスピ'オ属 (A型) 67 (79.8) ハ'ナカガキ'ゴ'カイ 4 (4.8) イトエラスピオ 3 (3.6) オウギゴカイ 2 (2.4) カタマカ'リキ'ホ'シイソメ 2 (2.4)	バ'ラフ'リオノスピ'オ属 (A型) 36 (67.9) ヒ'メカノコアサリ 6 (11.3) イトエラスピオ 4 (7.5) ゴニアダ属 2 (3.8) カタマカ'リキ'ホ'シイソメ 2 (3.8)	バ'ラフ'リオノスピ'オ属 (A型) 45 (75.0) イトエラスピオ 7 (11.7) ゴニアダ属 3 (5.0) ハ'ナカガキ'ゴ'カイ 2 (3.3) オウギゴカイ 2 (3.3)	バ'ラフ'リオノスピ'オ属 (A型) 20 (57.1) ケシトリガイ 7 (20.0) ヒ'メカノコアサリ 2 (5.7) カタマカ'リキ'ホ'シイソメ 2 (5.7) イトエラスピオ 2 (5.7)	バ'ラフ'リオノスピ'オ属 (A型) 5 (62.5) ケシトリガイ 1 (12.5) ヒ'メカノコアサリ 1 (12.5) イトエラスピオ 1 (12.5)	ケシトリガイ 5 (100.0)	バ'ラフ'リオノスピ'オ属 (A型) 29 (70.6) イトエラスピオ 3 (6.9) ケシトリガイ 2 (5.7) ヒ'メカノコアサリ 2 (4.1) ハ'ナカガキ'ゴ'カイ 1 (2.4) カタマカ'リキ'ホ'シイソメ 1 (2.4)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査地点個体数の構成比で上位5種を示す。

3. 個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。

単位：1. 個体数の単位は個体/0.1㎡、湿重量の単位はg/0.1㎡。

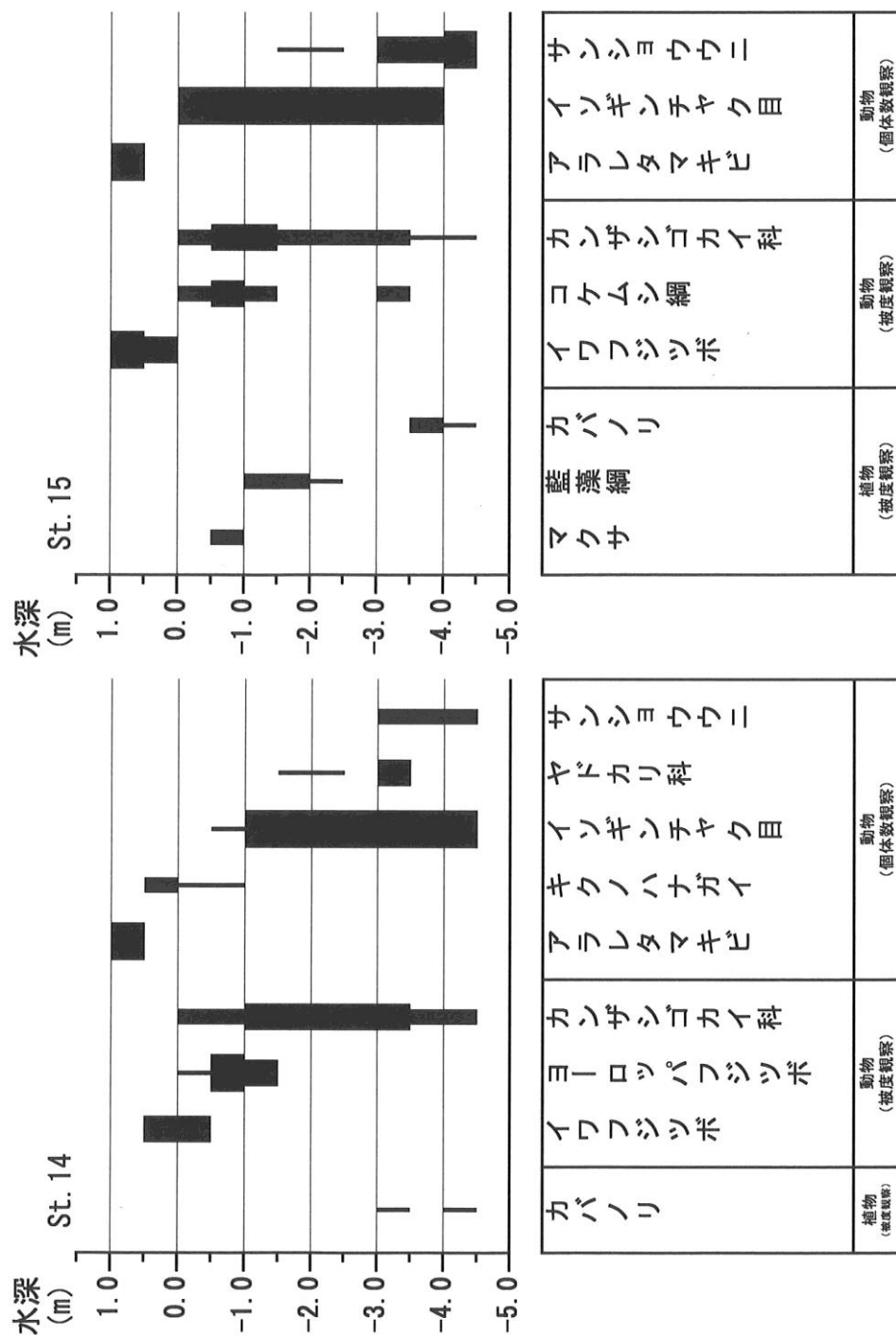
2. 湿重量の+は0.01g未満を示す。

表 1 - 11 (1) 付着生物観察結果(ベルトトランセクト法) (令和6年8月)

門			種 名 \ 調査月日 調 査 点	8月9日	
				14	15
植 物	被度観察	緑藻植物門	アサ属	r	r
			シオグサ属	r	r
		紅藻植物門	マクサ	1	2
			ムナデマリ科	r	r
			カハマリ	2	3
			イグス科	r	r
		藍藻植物門	藍藻綱	r	5
	植 物 種 類 数			7	7
動 物	被度観察	海綿動物	尋常海綿綱		r
		刺胞動物	ヒドロ虫綱	r	r
			リザンギア科	1	
		触手動物	フォロニス属	2	2
		苔虫動物	コケムシ綱	r	9
		軟体動物	オオヒゲカイ	r	1
			イタボカギ科	4	4
		環形動物	ミスヒキコカイ科	1	r
			カンザシコカイ科	23	18
		節足動物	カメノテ	1	
			イワフシツボ	6	7
			サンカクフシツボ		r
			ヨーロッパフシツボ	8	3
			ヨコエビ類の泥巢	r	1
		原索動物	シロボヤ	r	r
			群体性ホコ類	r	r
			単体性ホコ類	r	r
	個体数観察	刺胞動物	タデマイソギンチャク	2	7
			イソギンチャク目	1611	1878
		軟体動物	ヒサヲカイ	2	
			マツバカイ	1	
			カモカイ	4	
			アラレタマキビ	190	130
			シマメノウフネカイ		2
			レイシカイ		3
			イボニシ	1	1
			裸鰓目	1	3
			キクノハナカイ	10	
			カラマツカイ	2	3
		節足動物	ヤドカリ科	20	
		棘皮動物	イトマキヒトデ		1
			キヒトデ		4
			サンショウウエ	26	123
			マナマコ	1	5
動 物 種 類 数			28	27	

注：数値は、各調査点で水深+1m～海底までに連続した50×50cmの方形枠（11枠）を設置し、各枠ごとに観察した被度階級（被覆率を階級で表したもの）または個体数の合計を示す。

被度階級
被度：被覆率（％）
5：76～100
4：51～75
3：26～50
2：10～25
1：1～9
r：極僅か



調査期日：令和6年8月9日

(凡例)

被度階級：被覆率 (個体数)

1 : 1~9% (1~5個体)

2 : 10~25% (6~10個体)

3 : 26~50% (11~20個体)

4・5 : 51~100% (21個体以上)

注) 各種ごとの被度階級の合計が、植物は2以上、動物は5以上、または個体数の合計が10以上の種類およびその他特徴的な出現を示す種類について作成した。

図 1 - 2 主な付着生物の鉛直分布 (令和6年8月)

表 1－11 (2) 付着生物観察結果(坪刈り：植物) (令和6年8月)

調査期日：令和6年8月9日

調査点 項目		14				15				平均 ^{注1)}
		上 層	中 層	下 層	合 計	上 層	中 層	下 層	合 計	
種類数	緑藻植物門		1	2	2		1	3	3	3
	褐藻植物門									
	紅藻植物門			2	2			3	3	4
	そ の 他									
	合 計	0	1	4	4	0	1	6	6	7
湿重量 (g)	緑藻植物門		+	0.4	0.4		+	0.9	0.9	0.2
	褐藻植物門									
	紅藻植物門			0.9	0.9			0.8	0.8	0.3
	そ の 他									
	合 計	0.0	+	1.3	1.3	0.0	+	1.7	1.7	0.5
湿構成 重量比 (%)	緑藻植物門		100.0	30.8	30.8		100.0	52.9	52.9	43.3
	褐藻植物門									
	紅藻植物門			69.2	69.2			47.1	47.1	56.7
	そ の 他									
主 要 種 ^{注2)} 湿重量g (%)				テングサ科 0.8 (61.5) シオグサ属 0.4 (30.8) ムカデノリ科 0.1 (7.7)	テングサ科 0.8 (61.5) シオグサ属 0.4 (30.8) ムカデノリ科 0.1 (7.7)			シオグサ属 0.9 (52.9) ムカデノリ属 0.8 (47.1)	シオグサ属 0.9 (52.9) ムカデノリ属 0.8 (47.1)	シオグサ属 0.2 (43.3) テングサ科 0.1 (26.7) ムカデノリ属 0.1 (26.7)

※各採集層：上層平均水面、中層大潮最低低潮面、下層大潮最低低潮面 1 m

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。
 3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
 単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の + は0.1g未満を示す。
 2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1－11（3） 付着生物観察結果（坪刈り：動物）（令和6年8月）

調査点 項目		14					15					平均 ^(注1)
		上 層	中 層	下 層	合 計	上 層	中 層	下 層	合 計			
種 類 数	軟体動物門	3	4	11	16	3	14	7	16	22		
	環形動物門		2	11	12	3	13	17	19	20		
	節足動物門	1	4	5	7	7	10	12	18	18		
	そ の 他		1	4	5	2	4	5	6	7		
	合 計	4	11	31	40	15	41	41	59	67		
個 体 数	軟体動物門	19	28	1,545	1,592	133	1,514	2,364	4,011	934		
	環形動物門		3	311	314	3	190	372	565	147		
	節足動物門	6	563	484	1,053	633	1,750	1,684	4,067	853		
	そ の 他		1	42	43	2	214	288	504	91		
	合 計	25	595	2,382	3,002	771	3,668	4,708	9,147	2,025		
個 体 成 分 比 (%)	軟体動物門	76.0	4.7	64.9	53.0	17.3	41.3	50.2	43.9	46.1		
	環形動物門		0.5	13.1	10.5	0.4	5.2	7.9	6.2	7.2		
	節足動物門	24.0	94.6	20.3	35.1	82.1	47.7	35.8	44.5	42.1		
	そ の 他		0.2	1.8	1.4	0.3	5.8	6.1	5.5	4.5		
主 要 種 ^(注2) 個体数 (%)	アレタマキヒ	14 (56.0)	416 (69.9)	1,088 (45.7)	1,088 (36.2)	608 (78.9)	1,219 (33.2)	1,324 (28.1)	1,680 (18.4)	349 (17.3)		
	モクス'ヨコエヒ'科		シシカウセイ'属	ヨーロッパ'フジ'ツボ'	イワフジツボ	アレタマキヒ	イワフジツボ	ヨーロッパ'フジ'ツボ'	ヨーロッパ'フジ'ツボ'	ヨーロッパ'フジ'ツボ'		
	6 (24.0)	144 (24.2)	292 (12.3)	416 (13.9)	114 (14.8)	1,072 (29.2)	1,136 (24.1)	1,453 (15.9)	291 (14.4)			
	ベッコウガサ		コレ'トリナズ'カ'イ	ウスカニアツカ'イ	ヨーロッパ'フジ'ツボ'	モクス'ヨコエヒ'科	ヨーロッパ'フジ'ツボ'	ホトキ'ス'カ'イ	イタボガキ科	ウスカニアツカ'イ		
	4 (16.0)	16 (2.7)	216 (9.1)	294 (9.8)	13 (1.7)	312 (8.5)	549 (11.7)	1,446 (15.8)	269 (13.3)			
	コレヒ'コガ'モカ'イ		イタボガキ科	イタボガキ科	シシカウセイ'属	タマキビ	タジ'マフジ'ツボ'	タジ'マフジ'ツボ'	ウスカニアツカ'イ	イタボガキ科		
	1 (4.0)	9 (1.5)	136 (5.7)	220 (7.3)	10 (1.3)	272 (7.4)	288 (6.1)	1,396 (15.3)	265 (13.1)			
			タマキビ	タジ'マフジ'ツボ'	ウスカニアツカ'イ	イタボガキ科	イナキ'ソチャ'目	コウエン'カサ'ヒバ'リカ'イ	タジ'マフジ'ツボ'	コウエン'カサ'ヒバ'リカ'イ		
			2 (0.3)	96 (4.0)	216 (7.2)	9 (1.2)	129 (3.5)	261 (5.5)	562 (6.1)	239 (11.8)		
			アサナ'コ'カ'イ									
			2 (0.3)									
			ヨーロッパ'フジ'ツボ'									
		2 (0.3)										

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面－1 m

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。
3. 個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
単位：1. 個体数は0.09㎡当たりで示す。
2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1－11（4） 付着生物観察結果（坪刈り：動物（湿重量））（令和6年8月）

調査点 項目		14				15				平均 ^(注1)
		上 層	中 層	下 層	合 計	上 層	中 層	下 層	合 計	
湿重量 (g)	軟体動物門	7.0	0.6	25.9	33.5	0.6	20.1	38.6	59.3	15.5
	環形動物門		+	2.8	2.8	+	3.5	3.6	7.1	1.7
	節足動物門	+	2.1	17.8	19.9	4.7	21.8	53.5	80.0	16.7
	そ の 他		+	0.4	0.4	+	2.1	2.5	4.6	0.8
	合 計	7.0	2.7	46.9	56.6	5.3	47.5	98.2	151.0	34.6
湿構成比 (%)	軟体動物門	100.0	22.2	55.2	59.2	11.3	42.3	39.3	39.3	44.7
	環形動物門		<0.1	6.0	4.9	<0.1	7.4	3.7	4.7	4.8
	節足動物門	<0.1	77.8	38.0	35.2	88.7	45.9	54.5	53.0	48.1
	そ の 他		<0.1	0.9	0.7	<0.1	4.4	2.5	3.0	2.4
主 要 種 ^(注2) 湿重量g (%)	ベッコウガサ	6.6 (94.3)	1.8 (66.7)	10.9 (23.2)	10.9 (19.3)	4.6 (86.8)	15.7 (33.1)	26.3 (26.8)	33.2 (22.0)	7.1 (20.4)
	アレタマキヒ		イタボガキ科	ヨーロッパ'フジ'ツボ'	ヨーロッパ'フジ'ツボ'	アレタマキヒ	イワフジツボ	タジ'マフジ'ツボ'	タジ'マフジ'ツボ'	イタボガキ科
	0.3 (4.3)		0.5 (18.5)	9.2 (19.6)	9.2 (16.3)	0.5 (9.4)	7.6 (16.0)	25.0 (25.5)	25.5 (16.9)	4.9 (14.2)
	コレヒ'コガ'モカ'イ		シシカウセイ'属	イタボガキ科	イタボガキ科	イタボガキ科	ヨーロッパ'フジ'ツボ'	タジ'マフジ'ツボ'	タジ'マフジ'ツボ'	タジ'マフジ'ツボ'
	0.1 (1.4)		0.3 (11.1)	8.6 (18.3)	9.1 (16.1)	0.1 (1.9)	6.8 (14.3)	14.8 (15.1)	20.6 (13.6)	4.9 (14.0)
			コレヒ'コガ'モカ'イ	アサナ'コ'カ'イ	ベッコウガサ	ヨーロッパ'フジ'ツボ'	タジ'マフジ'ツボ'	アサナ'コ'カ'イ	イタボガキ科	タジ'マフジ'ツボ'
			0.1 (3.7)	4.5 (9.6)	6.6 (11.7)	0.1 (1.9)	5.8 (12.2)	12.3 (12.5)	20.4 (13.5)	4.1 (11.8)
				タジ'マフジ'ツボ'	アサナ'コ'カ'イ	ヨーロッパ'フジ'ツボ'	タジ'マフジ'ツボ'	イタボガキ科	アサナ'コ'カ'イ	アサナ'コ'カ'イ
				3.9 (8.3)	4.5 (8.0)		2.8 (5.9)	4.6 (4.7)	13.3 (8.8)	3.0 (8.6)

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面－1 m

- 注：1. 湿重量欄の平均は平均湿重量を示す。
2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種は除く。
3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の+は0.1g未満を示す。
2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1－12 (1) 漁業生物調査結果(刺網) (令和6年8月)

調査年月日：令和6年8月8～9日

項目 \ 調査点	16	17	平均
種類数	魚 類	9	8
	甲殻類	1	1
	頭足類		
	その他		
	合 計	10	8
個体数	魚 類	26	19
	甲殻類	1	1
	頭足類		
	その他		
	合 計	27	19
湿重量 (g)	魚 類	9,012.4	10,904.6
	甲殻類	57.4	
	頭足類		
	その他		
	合 計	9,069.8	10,904.6

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 種類数の平均欄は総種類数を示す。

表 1－12 (2) 漁業生物調査結果(刺網) (令和6年8月)

調査年月日：令和6年8月8～9日

項目 \ 調査点	16	17	平均
主要種	個体数 (組成比%)	魚 類	カサゴ 6 (22.2)
			キジハタ 6 (22.2)
			マアジ 4 (14.8)
			キュウセン 3 (11.1)
			マサバ 3 (11.1)
			イシガニ 1 (3.7)
		甲殻類	
	湿重量 (組成比%)	魚 類	カサゴ 2,909.0 (32.1)
			ボラ 2,665.8 (29.4)
			アカエイ 1,405.6 (15.5)
			クロダイ 832.7 (9.2)
			カサゴ 474.1 (5.2)
			イシガニ 57.4 (0.6)
		甲殻類	

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種のものを示す。

3. 個体数の平均値は小数点以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

陸 域 調 査 結 果

表 1 - 13 監視結果総括

(泉大津基地 令和6年8月調査結果)

測 定 点				A	B	C
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			8月27日	8月27日	8月27日
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	3,006	1,058	337
		最 小 時 間 交 通 量		1,976	528	193
		総 交 通 量		22,305	7,371	2,808
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	6	2	7
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	0
		総 交 通 量		27	3	36
	廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.1	0.0
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			—	—	—
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 値	(dB)	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 値		—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—
	振動 (L_{10})	一 時 間 値		—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—
大 気 質	調 査 日			8月24日～30日	8月24日～30日	—
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	0.002～0.002	0.002～0.005	—
		期間平均値		0.002	0.003	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	0.006～0.013	0.006～0.010	—
		期間平均値		0.010	0.007	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	0	0	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		0	0	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	0.002～0.008	0.005～0.012	—
		期間平均値		0.006	0.008	—
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数	(日)	0	0	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数	(時間)	0	0	—
	風 速	日平均値	(m/s)	0.8～2.8	0.8～1.7	—
		期間平均値		1.9	1.1	—
	風 向	最多風向	16方位	E	E	—

表 1 - 14 交通量調査結果

(泉大津基地周辺 令和6年8月結果)

測定点	測定 年月日	測定 時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な 騒音源
			総交通量 注1)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車 混入率 (%)									
			大型車 (台)	大型車 以外 (台)	合計 (台)	大型車 混入率 (%)	全車両	大型車 以外	廃棄物 車/ 全車両	注2)	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	
A 注3)	令和6年 8月27日	8:00	504	1,879	2,383	21.1	1	1	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	687	1,335	2,022	34.0	6	3	0.3	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	969	1,107	2,076	46.7	6	3	0.3	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	985	1,226	2,211	44.5	3	2	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	860	1,116	1,976	43.5	2	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	796	1,183	1,979	40.2	5	1	0.3	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	776	1,242	2,018	38.5	2	0	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	860	1,476	2,336	36.8	2	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	690	1,608	2,298	30.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	480	2,526	3,006	16.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	7,607	14,698	22,305	—	27	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	761	1,470	2,231	34.1	2.7	1	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	
B 注3)	令和6年 8月27日	8:00	320	738	1,058	30.2	2	0	0.2	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	426	324	750	56.8	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	432	348	780	55.4	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	570	330	900	63.3	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	408	276	684	59.6	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	288	240	528	54.5	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	373	330	703	53.1	1	0	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	330	354	684	48.2	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	258	354	612	42.2	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	186	486	672	27.7	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	3,591	3,780	7,371	—	3	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	359	378	737	48.7	0.3	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	
C 注4)	令和6年 8月27日	8:00	73	120	193	37.8	1	0	0.5	1.4	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	181	156	337	53.7	7	0	2.1	3.9	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	126	210	336	37.5	6	0	1.8	4.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	162	108	270	60.0	6	0	2.2	3.7	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	110	210	320	34.4	2	0	0.6	1.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	119	120	239	49.8	5	0	2.1	4.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	131	108	239	54.8	5	0	2.1	3.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	117	186	303	38.6	3	0	1.0	2.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	73	180	253	28.9	1	0	0.4	1.4	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	72	246	318	22.6	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	1,164	1,644	2,808	—	36	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	116	164	281	41.5	3.6	0	1.3	3.1	—	—	—	—	—	—	—	—	

注:1) 総交通量は1時間値に補正したもの(一般車:10分間値×6 + 廃棄物車:1時間値)を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。

:2) 総交通量(大型車)に占める廃棄物車(大型車)の混入率を示す。

:3) 測定点A、Bの廃棄物車数については、堺基地への搬入車両を含む。

:4) 令和3年3月末で廃棄物及び浚渫土砂の受入を終了していることから、測定点Cにおける廃棄物車数は陸上残土運搬車数のみを指す。

大気質調査結果

表 1－15 二酸化硫黄測定結果 （令和6年8月24日～8月30日）

測 定 点		A		B	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月24日（土）	0.002	0.004	0.005	0.005
	8月25日（日）	0.002	0.004	0.004	0.005
	8月26日（月）	0.002	0.002	0.005	0.010
	8月27日（火）	0.002	0.005	0.002	0.004
	8月28日（水）	0.002	0.002	0.002	0.002
	8月29日（木）	0.002	0.002	0.002	0.002
	8月30日（金）	0.002	0.002	0.002	0.002
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.002		0.003	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.002		0.005	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.005		0.010	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 1－16 二酸化窒素測定結果 （令和6年8月24日～8月30日）

測 定 点		A		B	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月24日（土）	0.009	0.018	0.006	0.011
	8月25日（日）	0.006	0.011	0.006	0.010
	8月26日（月）	0.013	0.022	0.009	0.025
	8月27日（火）	0.011	0.016	0.010	0.021
	8月28日（水）	0.011	0.018	0.007	0.009
	8月29日（木）	0.011	0.016	0.008	0.011
	8月30日（金）	0.011	0.018	0.006	0.013
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.010		0.007	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.013		0.010	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.022		0.025	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
1 時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上、0.06ppm 以下の 日 数（日）		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 1-17 一酸化窒素測定結果 (令和6年8月24日～8月30日)

測 定 点		A		B	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月24日 (土)	0.011	0.052	0.004	0.011
	8月25日 (日)	0.003	0.008	0.004	0.017
	8月26日 (月)	0.017	0.064	0.008	0.022
	8月27日 (火)	0.015	0.061	0.010	0.025
	8月28日 (水)	0.017	0.045	0.008	0.017
	8月29日 (木)	0.019	0.040	0.011	0.029
	8月30日 (金)	0.016	0.043	0.006	0.017
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.014		0.007	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.019		0.011	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.064		0.029	

表 1-18 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和6年8月24日～8月30日)

測 定 点		A			B		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	8月24日 (土)	0.020	45.9	0.070	0.009	58.4	0.019
	8月25日 (日)	0.010	65.1	0.019	0.011	59.7	0.026
	8月26日 (月)	0.030	44.1	0.082	0.017	54.1	0.047
	8月27日 (火)	0.026	42.4	0.076	0.019	51.2	0.046
	8月28日 (水)	0.028	38.2	0.058	0.015	45.7	0.025
	8月29日 (木)	0.030	38.0	0.055	0.019	42.3	0.037
	8月30日 (金)	0.027	41.3	0.060	0.012	52.1	0.030
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.024			0.015		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.030			0.019		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.082			0.047		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		42.7			50.9		

表 1－19 浮遊粒子状物質測定結果（令和6年8月24日～8月30日）

（泉大津基地 令和6年8月調査結果）

測 定 点		A		B	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別 値	8月24日（土）	0.008	0.023	0.010	0.022
	8月25日（日）	0.008	0.019	0.010	0.024
	8月26日（月）	0.008	0.020	0.012	0.032
	8月27日（火）	0.008	0.022	0.007	0.022
	8月28日（水）	0.005	0.017	0.006	0.011
	8月29日（木）	0.002	0.013	0.005	0.011
	8月30日（金）	0.005	0.015	0.008	0.015
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値 (mg/m ³)		0.006		0.008	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.008		0.012	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.023		0.032	
1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）		0		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）		0		0	

表 1－20 風向・風速観測結果（令和6年8月24日～8月30日）

（泉大津基地 令和6年8月調査結果）

測 定 点		A				B				天候
項 目		風速			最多 風向 (16方 位)	風速			最多 風向 (16方 位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方 位)			風速 (m/s)	風向 (16方 位)		
日 別 値	8月24日 (土)	2.0	4.2	WSW	WSW	0.9	2.0	N	WSW	晴一時曇
	8月25日 (日)	1.9	3.2	W	W	1.1	2.9	N	SSW	晴一時雨、雷を伴う
	8月26日 (月)	2.1	4.8	WSW	E	1.2	2.6	N	E	晴一時曇後一時雨
	8月27日 (火)	2.1	3.5	WSW	E	1.3	3.3	N	ESE	曇後晴
	8月28日 (水)	2.8	4.3	SE	E	1.7	2.4	ESE	ESE	晴後曇一時雨、雷を伴う
	8月29日 (木)	1.7	3.7	ENE	ENE	1.1	2.3	ESE	E	曇時々雨
	8月30日 (金)	0.8	1.4	SE	SE	0.8	2.1	SSE	SSE	曇
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		1.9			—	1.1			—	
期間最大風速 (m/s)		4.8			—	3.3			—	
期間最多風向 (16方位)		—			E	—			E	

注 1）最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

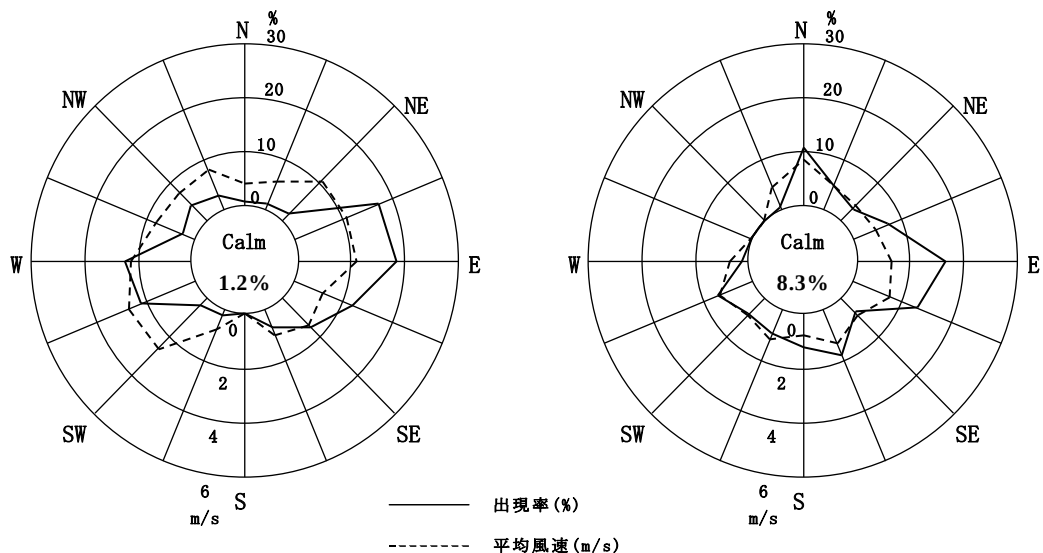
2）表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表 1-21 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和6年8月24日～8月30日)

(泉大津基地 令和6年8月調査結果)

測定点		A			B		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風 向	N	1	0.6	0.8	18	10.7	1.7
	NNE	2	1.2	1.1	8	4.8	1.0
	NE	3	1.8	2.1	5	3.0	0.8
	ENE	29	17.3	2.1	12	7.1	0.9
	E	31	18.5	2.2	28	16.7	1.3
	ESE	20	11.9	1.2	22	13.1	1.5
	SE	13	7.7	1.4	6	3.6	0.9
	SSE	6	3.6	1.0	15	8.9	1.3
	S	—	—	—	10	6.0	0.8
	SSW	2	1.2	0.8	8	4.8	1.1
	SW	3	1.8	2.6	7	4.2	0.9
	WSW	19	11.3	2.7	12	7.1	1.3
	W	21	12.5	2.3	2	1.2	0.7
	WNW	4	2.4	1.6	—	—	—
	NW	7	4.2	1.5	—	—	—
	NNW	5	3.0	1.6	1	0.6	0.9
calm		2	1.2	0.3	14	8.3	0.2
total		168	100.0	1.9	168	100.0	1.1

注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

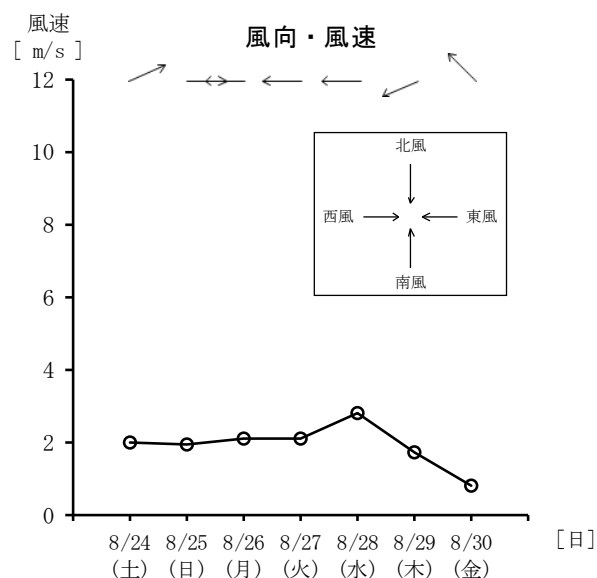
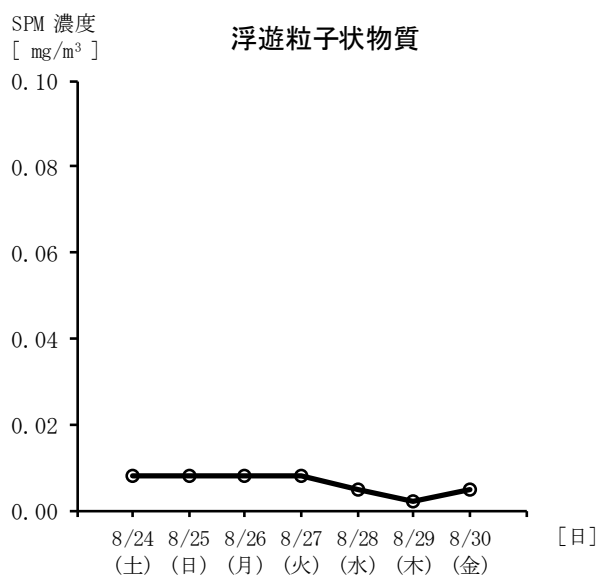
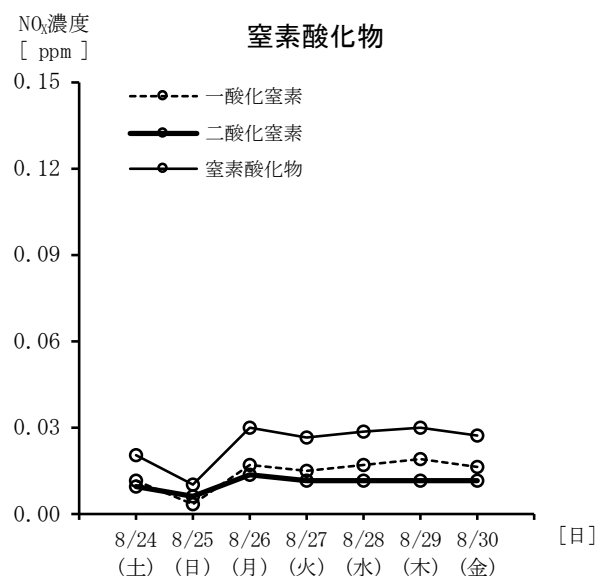
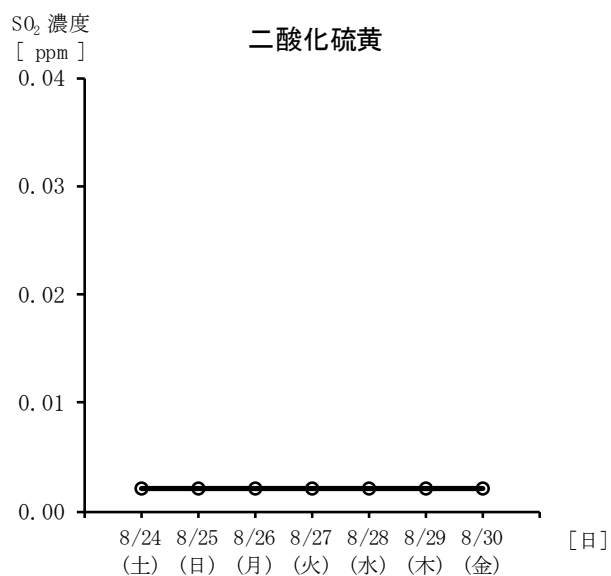


注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 A

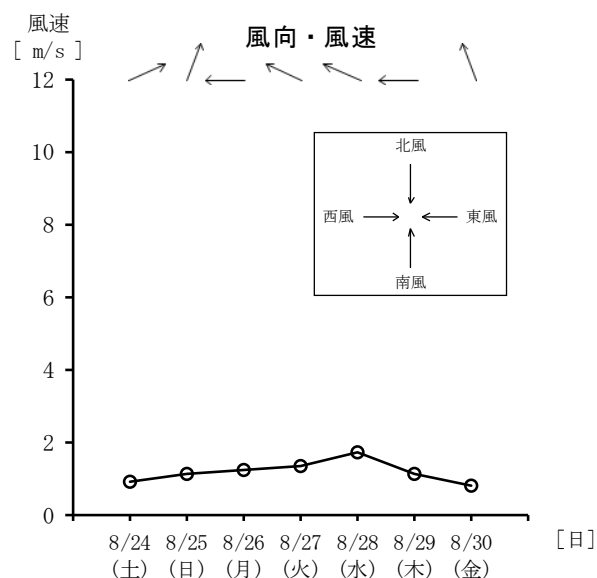
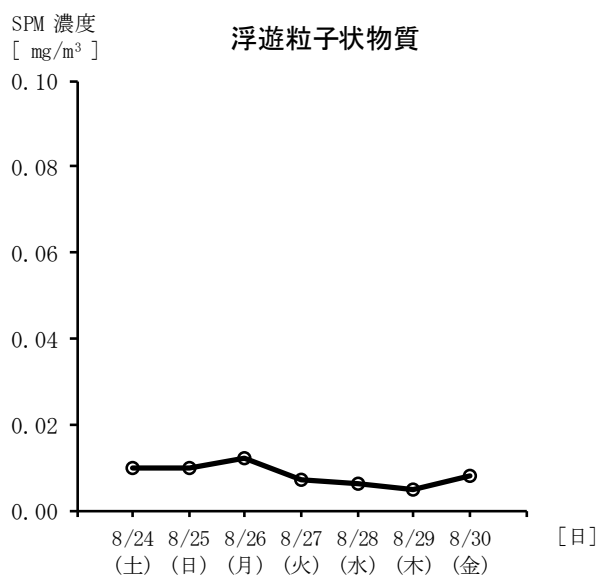
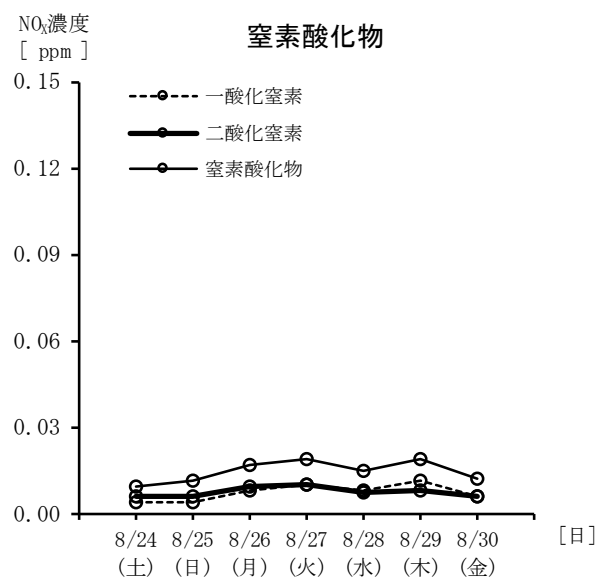
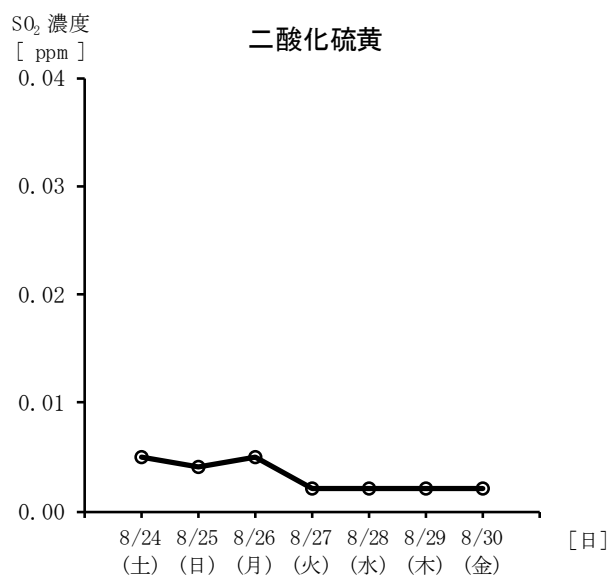
測定点 B

図 1-3 風配図と風向別平均風速 (令和6年8月24日～8月30日)



測定点 A

図 1 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年8月24日～8月30日)



測定点 B

図 1 - 5 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年8月24日～8月30日)

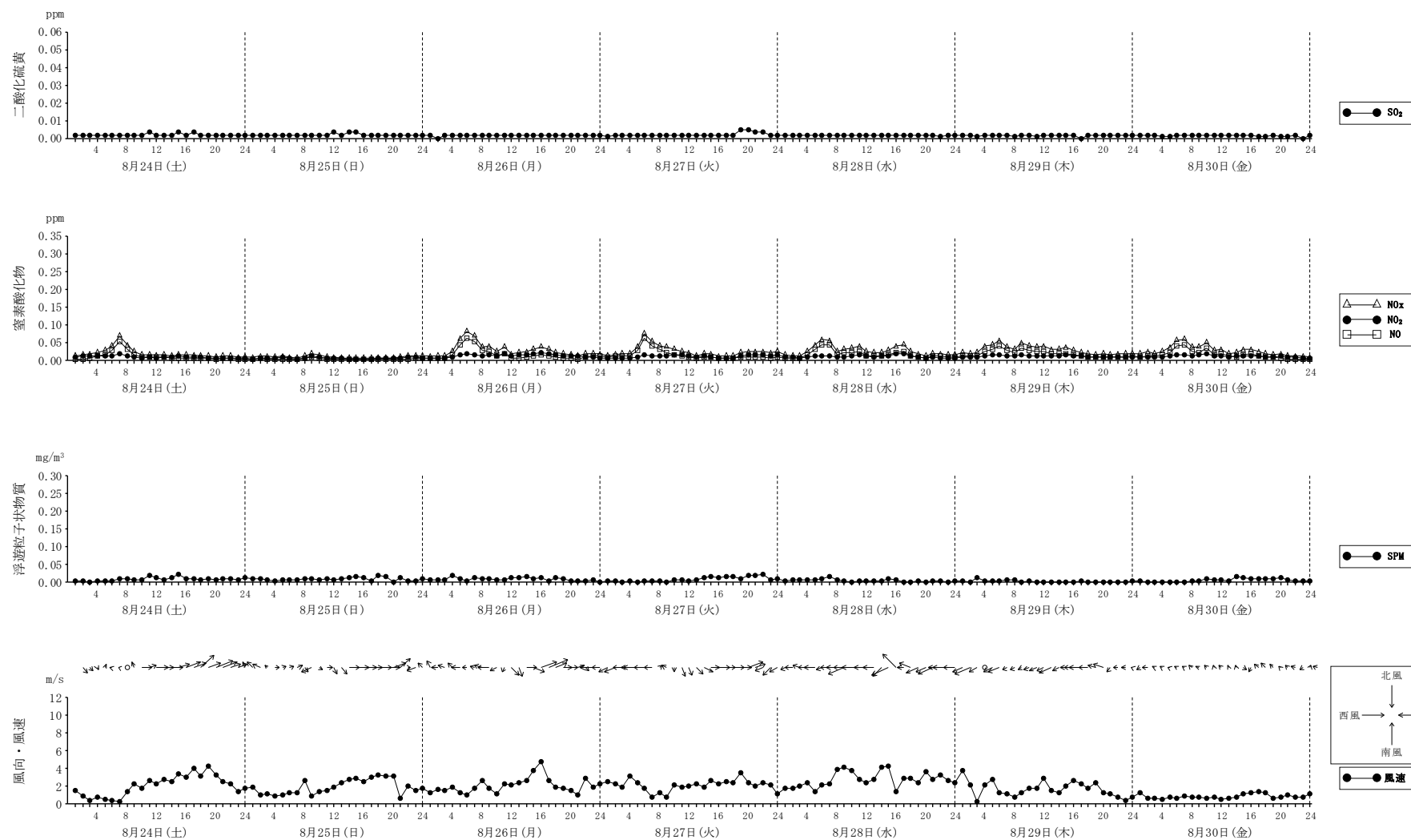


図 1－6 大気質・気象時系列変化図 （令和6年8月24日～8月30日） 測定点 A

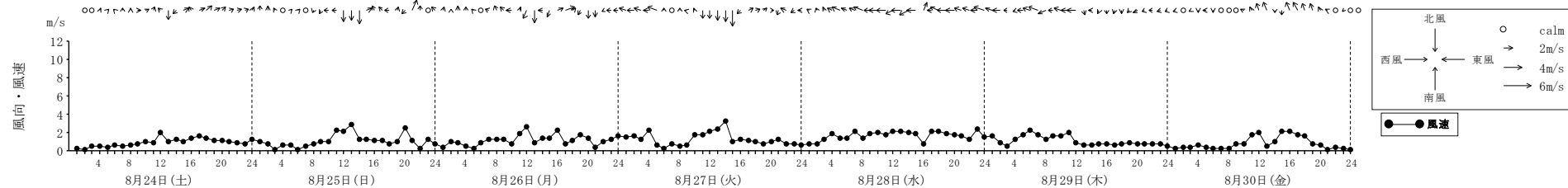
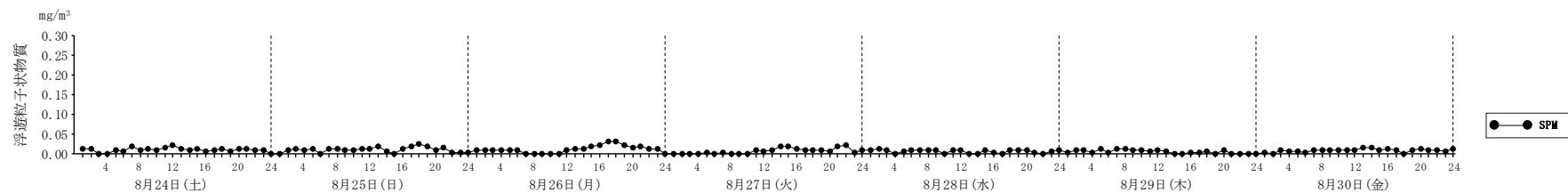
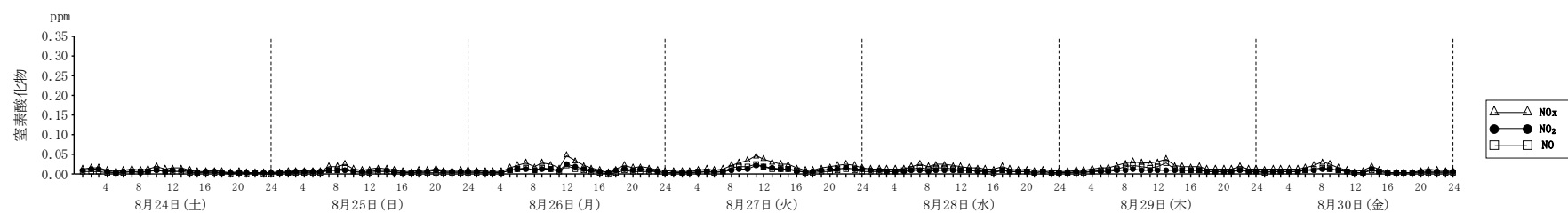
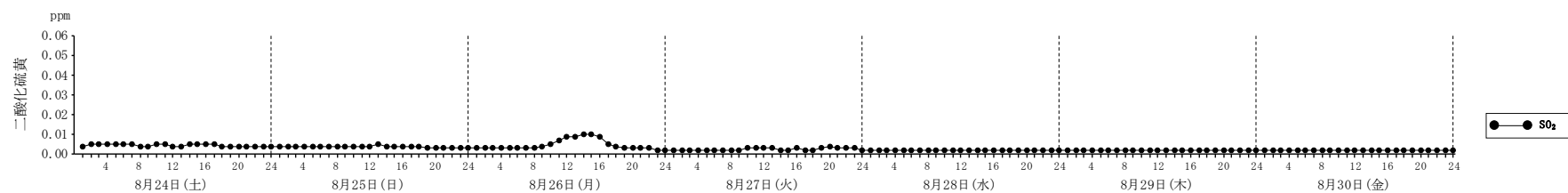


図 1－7 大気質・気象時系列変化図 (令和6年8月24日～8月30日) 測定点 B

表 1－22 悪臭調査結果

(泉大津基地)

測定日：令和6年8月28日

測 定 点		D 1（風上）	D 2（風下）
測 定 時 間		11:35	11:55
気 象	天 候 (当日/前日)	晴/晴	晴/晴
	気 温	35.5℃	37.0℃
	湿 度	67%	58%
	風 向	北	北
	風 速	1.7m/s	1.9m/s
官 能 試 験	臭 気 濃 度	<10	<10
	臭 気 指 数	<10	<10
	臭 気 強 度	0	0
	臭 質	無臭	無臭

(注) 臭気濃度：人の嗅覚でその臭気を感じできなくなった時点の希釈倍数

臭気指数：臭気指数＝ $10 \times \log$ （臭気濃度）

官能試験時に求められた臭気強度である。

臭気強度：0（無臭）～5（強烈な臭い）の6段階に区分

表 1－23 悪臭物質調査結果

(泉大津基地)

測定日：令和6年8月28日

項目	調査地点	E		報告 下限値	規制 基準値
	調査時刻	10：35 ～ 11：20			
	天候(当日/前日)	晴/晴			
	風向	東北東～北北東			
	風速	0.9m/s			
	気温	35.0℃			
	湿度	67%			
アンモニア	(ppm)	0.1	未満	0.1	1
メチルメルカプタン	(ppm)	0.0005	未満	0.0005	0.002
硫化水素	(ppm)	0.001	未満	0.001	0.02
硫化メチル	(ppm)	0.001	未満	0.001	0.01
二硫化メチル	(ppm)	0.001	未満	0.001	0.009
トリメチルアミン	(ppm)	0.001	未満	0.001	0.005
アセトアルデヒド	(ppm)	0.005	未満	0.005	0.05
プロピオンアルデヒド	(ppm)	0.005	未満	0.005	0.05
ノルマルブチルアルデヒド	(ppm)	0.0009	未満	0.0009	0.009
イソブチルアルデヒド	(ppm)	0.002	未満	0.002	0.02
ノルマルバレルアルデヒド	(ppm)	0.0009	未満	0.0009	0.009
イソバレルアルデヒド	(ppm)	0.0003	未満	0.0003	0.003
イソブタノール	(ppm)	0.09	未満	0.09	0.9
酢酸エチル	(ppm)	0.3	未満	0.3	3
メチルイソブチルケトン	(ppm)	0.1	未満	0.1	1
トルエン	(ppm)	1	未満	1	10
スチレン	(ppm)	0.04	未満	0.04	0.4
キシレン	(ppm)	0.1	未満	0.1	1
プロピオン酸	(ppm)	0.0004	未満	0.0004	0.03
ノルマル酪酸	(ppm)	0.0004	未満	0.0004	0.001
ノルマル吉草酸	(ppm)	0.0004	未満	0.0004	0.0009
イソ吉草酸	(ppm)	0.0004	未満	0.0004	0.001

表 1－24 発生ガス調査結果

(泉大津基地)

項 目	調 査 地 点	F－1	F－2
	測 定 日	令和6年8月28日	
	調 査 時 刻	9:25	10:03
	天 候	晴	晴
	風向(16方位)	北東	北東
	風速(m/s)	3.3	2.2
	気温(℃)	32.2	36.5
	湿度(%)	71	58
	地中温度(℃)	37.7	30.2
	流量 (cm ³ /分)	<10	<10
メタン (ppm)	発生ガス	3.5	9.9
	大気環境	2.6	3.1

大 阪 基 地

Ⅱ 大阪基地

1 環境監視結果の概要

1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和6年8月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図2-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日時
交通量	総交通量(2車種分類 ^{注)})	No. 1 No. 2	3 地点	10時間 (毎正時10分間)	8月1日 8時～18時
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注)})	No. 4		10時間 (連続)	
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No. 2 No. 3	2 地点	1 週間 (連続)	8月1日 0時30分～ 8月8日 0時30分
悪 臭	臭気強度、 臭気指数、 臭気濃度	No. 5 No. 6	2 地点	年 2 回	8月21日

注) 2車種分類とは、総交通量、廃棄物車とも大型車と大型車以外の2種とする。

1.2 環境監視の結果

交通量及び大気質の監視結果については、総括を表2-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表2-2～表2-9及び図2-2～図2-6に示す。

(1) 交通量（表2-1、表2-2）

ア) 大阪池田線沿道の測定点（No. 1）

時間交通量は 955～1,703台、廃棄物車の時間交通量は 0～6台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 26台/10hrで、総交通量(13,100台/10hr)に占める割合は 0.2%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 大阪池田線沿道の測定点（No. 2）

時間交通量は 1,004～1,394台、廃棄物車の時間交通量は 0～6台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 15台/10hrで、総交通量(11,763台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は 86～237台、廃棄物車の時間交通量は 0～45台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 190台／10hrで、総交通量(1,588台／10hr)に占める割合は 12.0%であった。

(2) 大気質 (表 2－1、表 2－3～表 2－9)

7) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は 2.0m/secであった。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は 2.6m/secであった。

(3) 悪臭 (表 2－10)

悪臭の調査結果を表2-10に示す。

臭気濃度及び臭気指数はNo. 5 (風上)、No. 6 (風下) とともに<10であった。また、臭気強度は両地点ともに 0 で臭質は無臭であった。

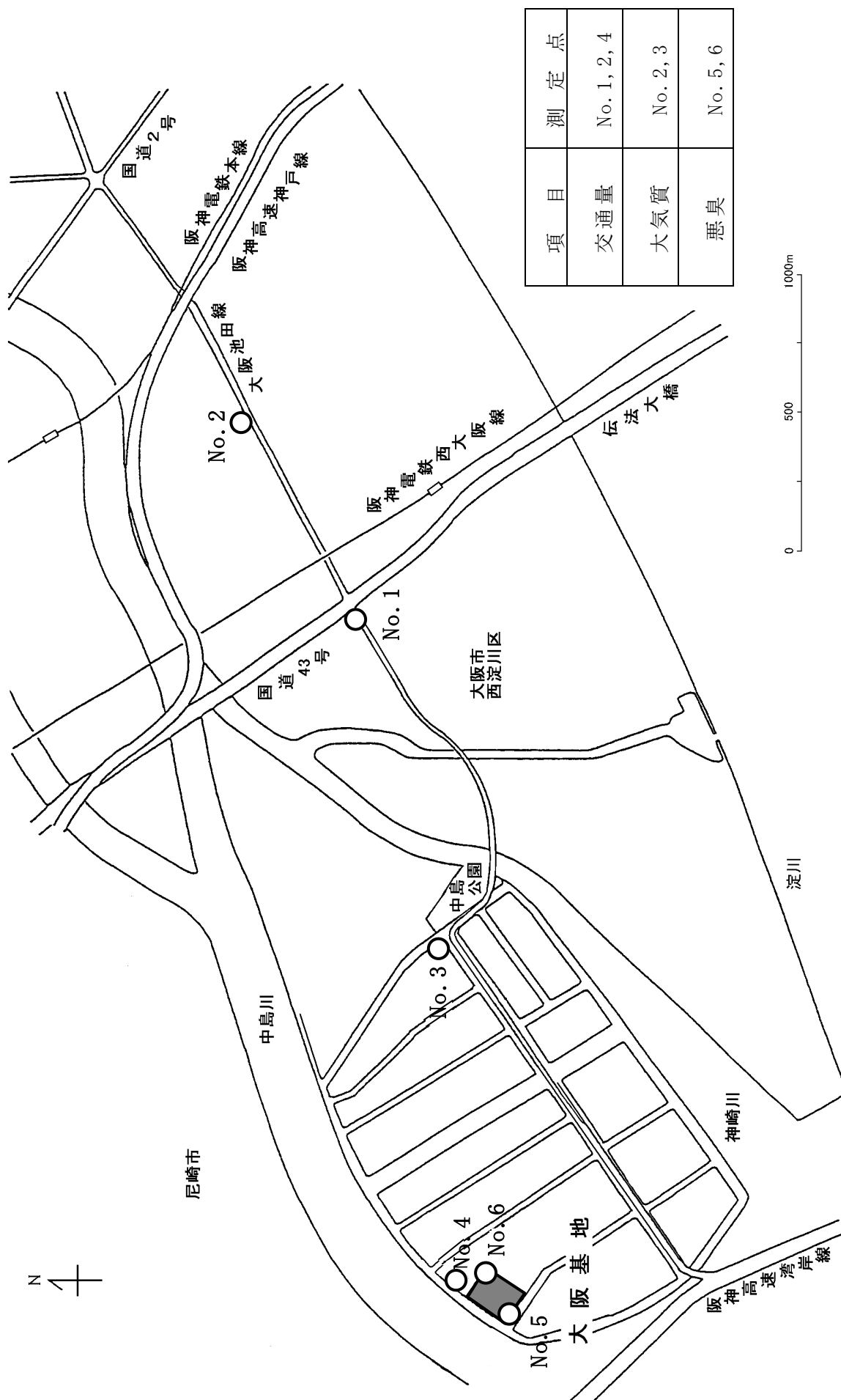


図 2 - 1 環境監視調査地点位置図(大阪基地)

2 環境監視結果

表 2 - 1 監視結果総括

(大阪基地 令和6年8月調査結果)

測 定 点				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			8月1日	8月1日	—	8月1日
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	1,703	1,394	—	237
		最 小 時 間 交 通 量		955	1,004	—	86
		総 交 通 量		13,100	11,763	—	1,588
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	6	6	—	45
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	—	0
		総 交 通 量		26	15	—	190
	廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.2	0.1	—
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			—	—	—	—
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 値	(dB)	—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 値		—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
	振動 (L_{10})	一 時 間 値		—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
大 気 質	調 査 日			—	8月1日～7日	8月1日～7日	—
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	—	0.004～0.006	0.003～0.005	—
		期間平均値		—	0.005	0.004	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	—	0	0	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	—	0	0	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	—	0.006～0.014	0.007～0.017	—
		期間平均値		—	0.009	0.011	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	—	0	0	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		—	0	0	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	—	0.008～0.023	0.015～0.037	—
		期間平均値		—	0.018	0.028	—
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数	(日)	—	0	0	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数	(時間)	—	0	0	—
	風 速	日平均値	(m/s)	—	1.6～2.4	2.2～3.0	—
		期間平均値		—	2.0	2.6	—
	風 向	最多風向	16方位	—	W	W	—

表 2 - 2 交通量調査結果

(大阪基地 令和6年8月結果)

測定点	測定 年月日	測定 時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な 騒音源
			総交通量 注1)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車 混入率 (%)									
			大型車 (台)	大型車 以外 (台)	合計 (台)	大型車 混入率 (%)	全車両	大型車 以外	廃棄物 車/全車 両	注2)	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	
No.1	令和6年 8月1日	8:00	540	840	1,380	39.1	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	825	588	1,413	58.4	3	0	0.2	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	843	546	1,389	60.7	3	0	0.2	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	798	540	1,338	59.6	6	0	0.4	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	571	384	955	59.8	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	537	492	1,029	52.2	3	0	0.3	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	929	774	1,703	54.6	5	0	0.3	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	628	738	1,366	46.0	4	0	0.3	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	577	570	1,147	50.3	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	402	978	1,380	29.1	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	6,650	6,450	13,100	—	26	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均	665	645	1,310	50.8	2.6	0	0.2	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2	令和6年 8月1日	8:00	475	876	1,351	35.2	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	402	684	1,086	37.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	534	636	1,170	45.6	6	0	0.5	1.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	361	810	1,171	30.8	1	0	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	378	630	1,008	37.5	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	374	630	1,004	37.3	2	0	0.2	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	531	792	1,323	40.1	3	0	0.2	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	463	931	1,394	33.2	2	1	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	342	750	1,092	31.3	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	246	918	1,164	21.1	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	4,106	7,657	11,763	—	15	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均	411	766	1,176	34.9	1.5	0.1	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3	—	8:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.4	令和6年 8月1日	8:00	47	144	191	24.6	5	0	2.6	10.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	81	72	153	52.9	39	6	25.5	40.7	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	83	54	137	60.6	29	0	21.2	34.9	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	123	114	237	51.9	45	0	19.0	36.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	78	114	192	40.6	18	0	9.4	23.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	41	66	107	38.3	23	0	21.5	56.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	93	122	215	43.3	23	2	10.7	22.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	56	30	86	65.1	8	0	9.3	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	18	90	108	16.7	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	36	126	162	22.2	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	656	932	1,588	—	190	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
平均	66	93	159	41.3	19.0	0.8	12.0	27.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

注:1) 総交通量は1時間値に補正したもの(一般車:10分間値×6 + 廃棄物車:1時間値)を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。

:2) 総交通量(大型車)に占める廃棄物車(大型車)の混入率を示す。

大気質調査結果

表 2－3 二酸化硫黄測定結果 （令和6年8月1日～8月7日）

（大阪基地 令和6年8月調査結果）

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月1日（木）	0.006	0.008	0.005	0.007
	8月2日（金）	0.006	0.009	0.004	0.005
	8月3日（土）	0.006	0.009	0.003	0.004
	8月4日（日）	0.005	0.009	0.004	0.005
	8月5日（月）	0.004	0.006	0.004	0.005
	8月6日（火）	0.005	0.010	0.005	0.005
	8月7日（水）	0.004	0.007	0.005	0.006
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.005		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.006		0.005	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.010		0.007	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 2－4 二酸化窒素測定結果 （令和6年8月1日～8月7日）

（大阪基地 令和6年8月調査結果）

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月1日（木）	0.008	0.016	0.010	0.020
	8月2日（金）	0.014	0.029	0.017	0.038
	8月3日（土）	0.008	0.013	0.010	0.015
	8月4日（日）	0.007	0.012	0.007	0.014
	8月5日（月）	0.010	0.018	0.012	0.026
	8月6日（火）	0.011	0.027	0.013	0.025
	8月7日（水）	0.006	0.013	0.009	0.016
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.009		0.011	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.014		0.017	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.029		0.038	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
1 時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上、0.06ppm 以下の 日 数（日）		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 2－5 一酸化窒素測定結果 (令和6年8月1日～8月7日)

(大阪基地 令和6年8月調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月1日 (木)	0.010	0.015	0.006	0.012
	8月2日 (金)	0.016	0.042	0.009	0.024
	8月3日 (土)	0.008	0.017	0.006	0.008
	8月4日 (日)	0.015	0.072	0.005	0.008
	8月5日 (月)	0.018	0.028	0.008	0.024
	8月6日 (火)	0.014	0.020	0.012	0.024
	8月7日 (水)	0.012	0.028	0.008	0.016
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.013		0.008	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.018		0.012	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.072		0.024	

表 2－6 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和6年8月1日～8月7日)

(大阪基地 令和6年8月調査結果)

測 定 点		No. 2			No. 3		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	8月1日 (木)	0.018	43.9	0.028	0.016	60.6	0.032
	8月2日 (金)	0.030	47.9	0.061	0.027	65.0	0.058
	8月3日 (土)	0.016	52.1	0.025	0.016	62.5	0.023
	8月4日 (日)	0.023	32.0	0.082	0.013	58.8	0.022
	8月5日 (月)	0.028	34.4	0.038	0.020	58.6	0.046
	8月6日 (火)	0.025	44.6	0.040	0.025	51.3	0.044
	8月7日 (水)	0.018	32.3	0.034	0.017	51.8	0.027
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.023			0.019		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.030			0.027		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.082			0.058		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		40.9			58.4		

表 2－7 浮遊粒子状物質測定結果（令和6年8月1日～8月7日）

(大阪基地 令和6年8月調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別 値	8月1日（木）	0.014	0.036	0.022	0.044
	8月2日（金）	0.020	0.050	0.030	0.077
	8月3日（土）	0.022	0.062	0.033	0.081
	8月4日（日）	0.022	0.070	0.037	0.096
	8月5日（月）	0.023	0.052	0.037	0.099
	8月6日（火）	0.018	0.052	0.023	0.045
	8月7日（水）	0.008	0.020	0.015	0.032
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値 (mg/m ³)		0.018		0.028	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.023		0.037	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.070		0.099	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 2－8 風向・風速測定結果（令和6年8月1日～8月7日）

(大阪基地 令和6年8月調査結果)

測 定 点		No. 2				No. 3				天候
項 目		風速			最多 風向 (16方 位)	風速			最多 風向 (16方 位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方 位)			風速 (m/s)	風向 (16方 位)		
日 別 値	8月1日 (木)	1.9	3.1	WSW	NNE	2.5	4.8	W	W	晴
	8月2日 (金)	2.0	3.4	W	W	2.8	4.9	W	W	晴後時々薄曇
	8月3日 (土)	2.4	4.5	W	W	3.0	4.9	WSW	W	晴
	8月4日 (日)	1.6	3.5	W	W	2.2	3.9	WSW	W	晴一時曇後一時雨、雷を伴う
	8月5日 (月)	2.0	3.8	NNW	W	2.6	6.1	WNW	W	晴時々曇一時雨、雷を伴う
	8月6日 (火)	1.8	3.3	W	NNE	2.2	4.1	W	W	晴時々曇、雷を伴う
	8月7日 (水)	2.3	3.7	N	N	2.7	4.5	NNE	NNE	晴一時曇
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		2.0			—	2.6			—	
期間最大風速 (m/s)		4.5			—	6.1			—	
期間最多風向 (16方位)		—			W	—			W	

注 1）最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

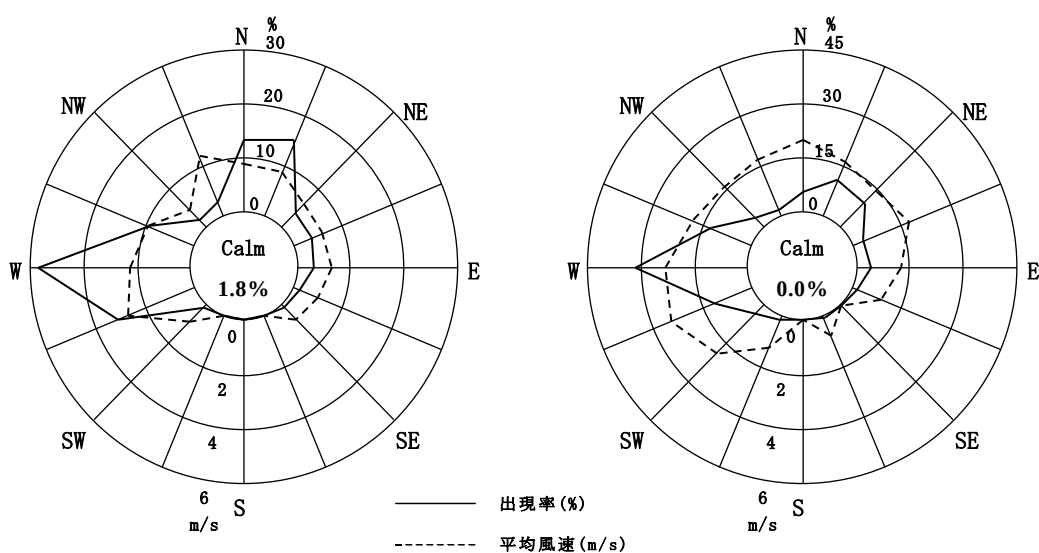
2）表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表 2 - 9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和6年8月1日～8月7日)

(大阪基地 令和6年8月調査結果)

測定点		No.2			No.3		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風 向	N	22	13.1	1.8	9	5.4	2.6
	NNE	25	14.9	1.8	18	10.7	2.2
	NE	6	3.6	1.2	16	9.5	1.9
	ENE	6	3.6	1.2	5	3.0	2.3
	E	5	3.0	1.3	7	4.2	1.7
	ESE	2	1.2	1.0	2	1.2	1.2
	SE	1	0.6	0.8	—	—	—
	SSE	—	—	—	1	0.6	0.8
	S	—	—	—	—	—	—
	SSW	—	—	—	2	1.2	1.2
	SW	1	0.6	0.9	6	3.6	2.5
	WSW	26	15.5	2.7	19	11.3	3.3
	W	48	28.6	2.3	53	31.5	3.1
	WNW	15	8.9	1.9	21	12.5	2.4
	NW	3	1.8	0.9	6	3.6	2.1
	NNW	5	3.0	2.4	3	1.8	2.3
calm		3	1.8	0.2	—	—	—
total		168	100.0	2.0	168	100.0	2.6

注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

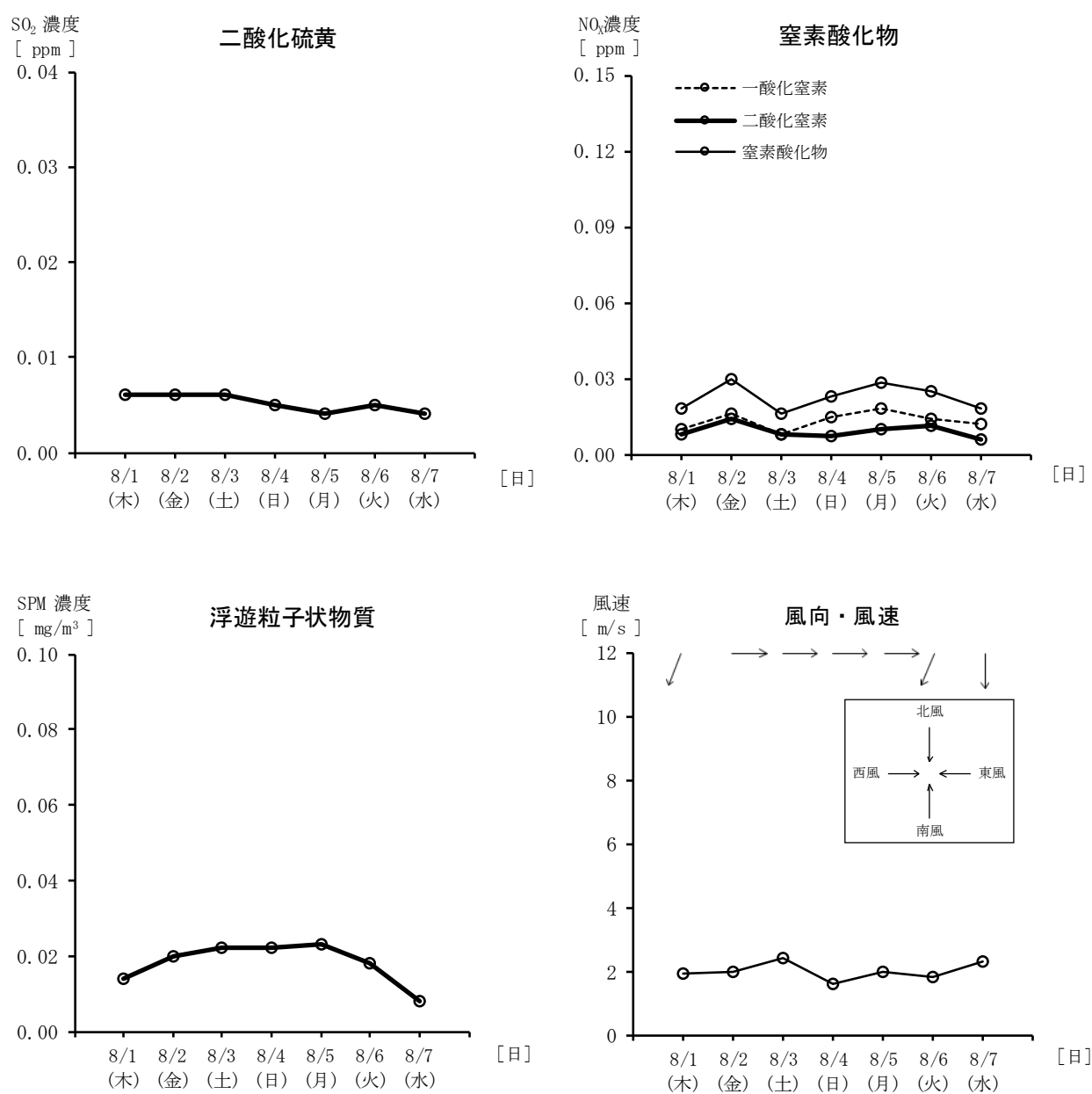


注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 No. 2

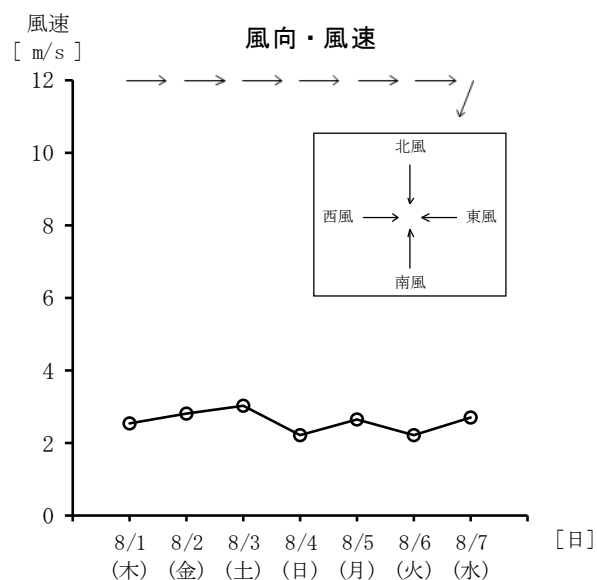
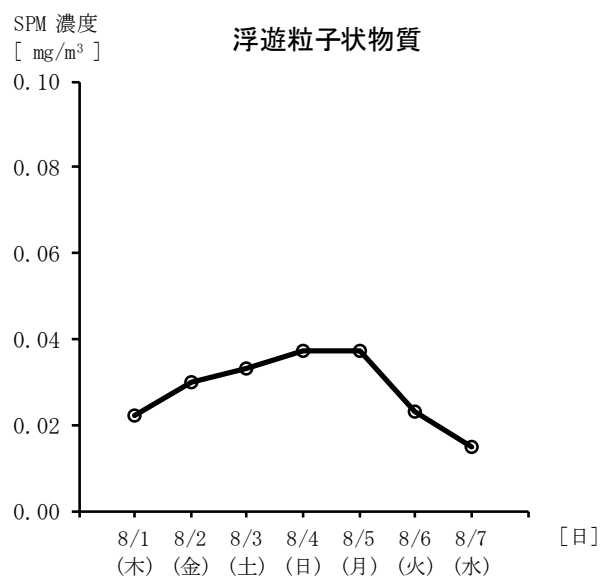
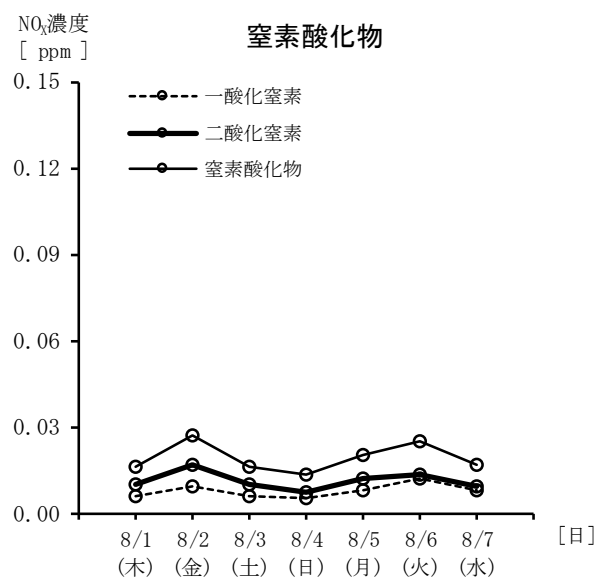
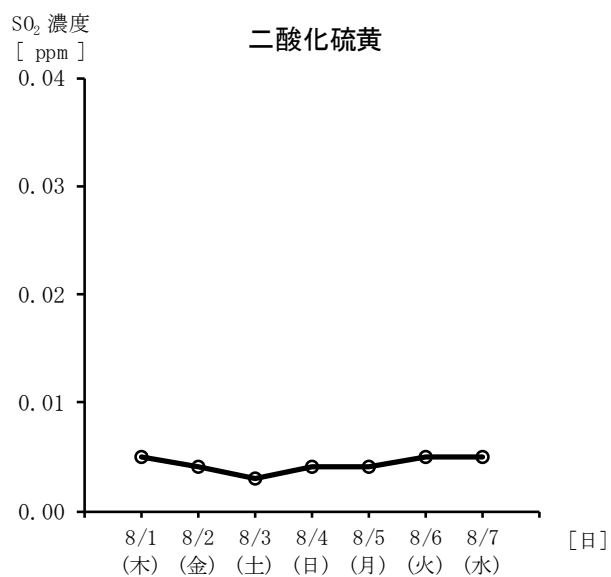
測定点 No. 3

図 2 - 2 風配図と風向別平均風速 (令和6年8月1日～8月7日)



測定点 No. 2

図 2 - 3 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年8月1日～8月7日)



測定点 No. 3

図 2 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年8月1日～8月7日)

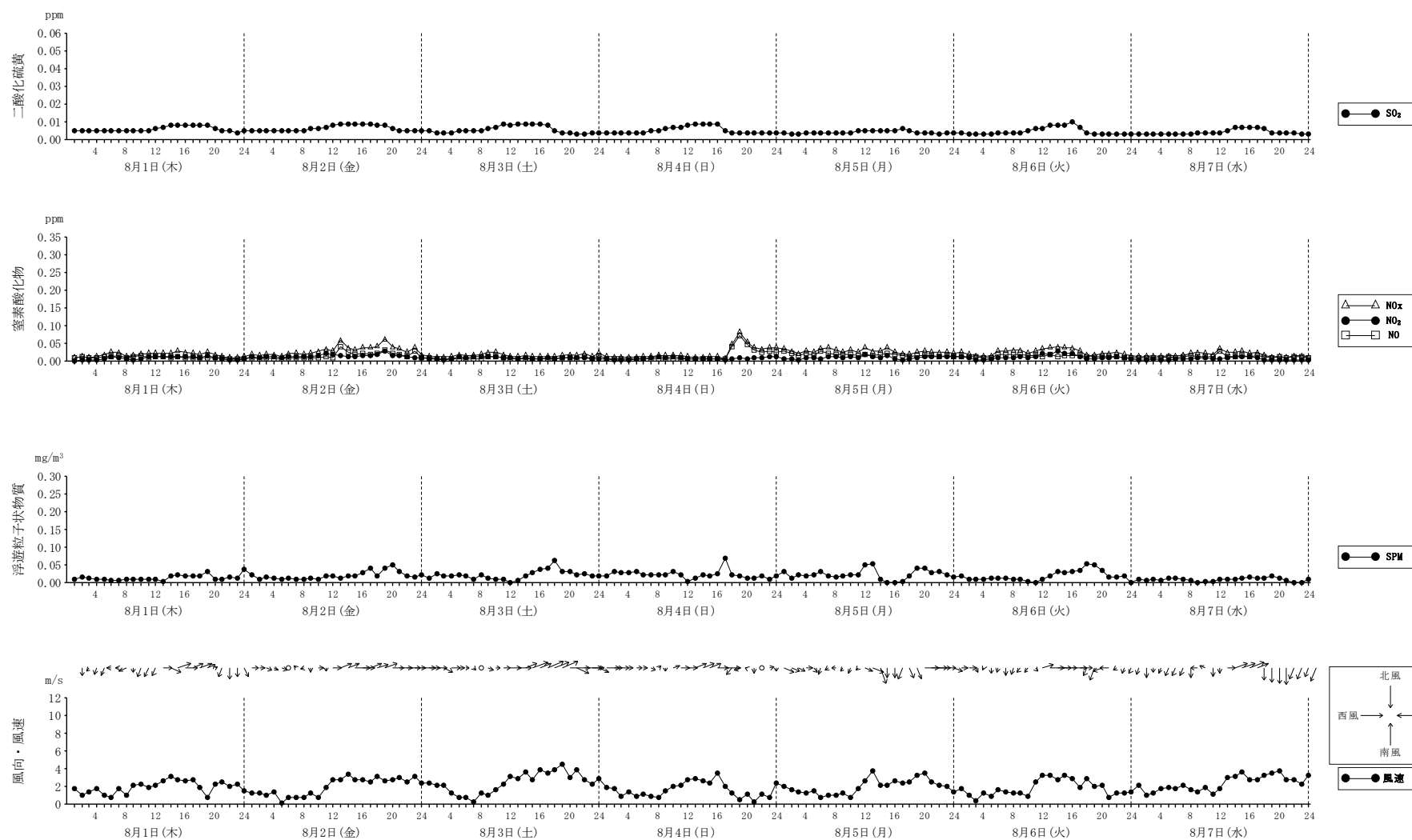


図 2 - 5 大気質・気象時系列変化図 (令和6年8月1日～8月7日) 測定点 No. 2

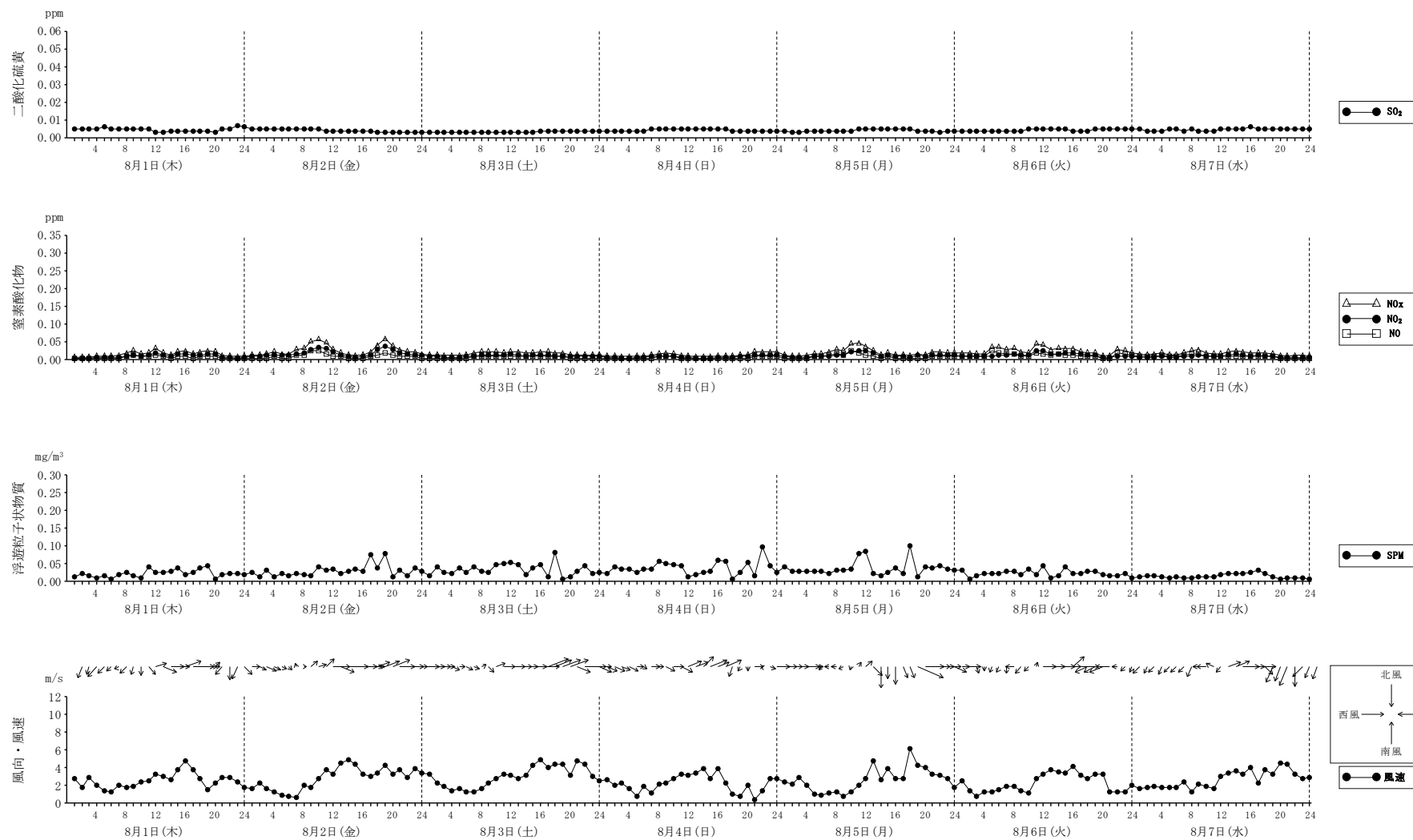


図 2 - 6 大気質・気象時系列変化図 (令和6年8月1日～8月7日) 測定点 No. 3

表 2-10 悪臭結果

(大阪基地)

測定日：令和6年8月21日

測 定 点		No. 5 (風上)	No. 6 (風下)
測 定 時 間		9:15	9:28
気 象	天 候(当日/前日)	晴/晴一時雨	晴/晴一時雨
	気 温	29.5℃	29.0℃
	湿 度	89%	89%
	風 向	南南西	calm
	風 速	0.6m/s	<0.4m/s
官 能 試 験	臭 気 濃 度	<10	<10
	臭 気 指 数	<10	<10
	臭 気 強 度	0	0
	臭 質	無臭	無臭

(注) 臭気濃度：人の嗅覚でその臭気を感じできなくなった時点の希釈倍数

臭気指数：臭気指数=10×log（臭気濃度）

官能試験時に求められた臭気強度である。

臭気強度：0（無臭）～5（強烈な臭い）の6段階に区分

堺 基 地

Ⅲ 堺基地

1 環境監視結果の概要

1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和6年8月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図3-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日
交通量	総交通量(2車種分類 ^{注1)})	No. 1 No. 2	4 地点	10時間 ^{注2)} (毎正時10分間)	8月20日 8時～18時 ^{注2)}
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注1)})	No. 3 No. 4		10時間 ^{注2)} (連続)	
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No. 1 ^{注3)} No. 2	2 地点	1 週間 (連続)	8月20日 0時30分～ 8月27日 0時30分
悪 臭	臭気強度、 臭気指数、 臭気濃度	No. 5 No. 6	2 地点	年 2 回	8月21日

注1:2車種分類とは、総交通量、廃棄物とも大型車と大型車以外の2種とする。

注2:測定点No.4の交通量の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖が17時45分であるため、8時から17時までの9時間とした。

注3:平成26年度から大気質No.1を変更した。

1.2 環境監視の結果

交通量及び大気質の監視結果については、総括を表3-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表3-2～表3-9及び図3-2～図3-6に示す。

(1) 交通量 (表3-1、表3-2)

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は 2,001～3,186台、廃棄物車の時間交通量は 0～7台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 24台/10hrで、総交通量(24,450台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は 978～1,842台、廃棄物車の時間交通量は 0～4台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 13台/10hrで、総交通量(14,353台/10hr)に占める割合は 0.1%

であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 3)

時間交通量は 1,569～2,628台、廃棄物車の時間交通量は 0～4台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 18台/10hrで、総交通量(20,688台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

エ) 堺基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は 1～61台、廃棄物車の時間交通量は 1～55台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 211台/9hrで、総交通量(217台/9hr)に占める割合は 97.2%であった。

(2) 大気質 (表 3-1、表 3-3～表 3-9)

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北であり、平均風速は 1.2m/secであった。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西北西であり、平均風速は 1.0m/secであった。

(3) 悪臭 (表 3-10)

悪臭の調査結果を表 3-10に示す。

臭気濃度及び臭気指数はNo. 5 (風下)、No. 6 (風上) とともに <10であった。臭気強度は両地点ともに 0 で臭質は無臭であった。

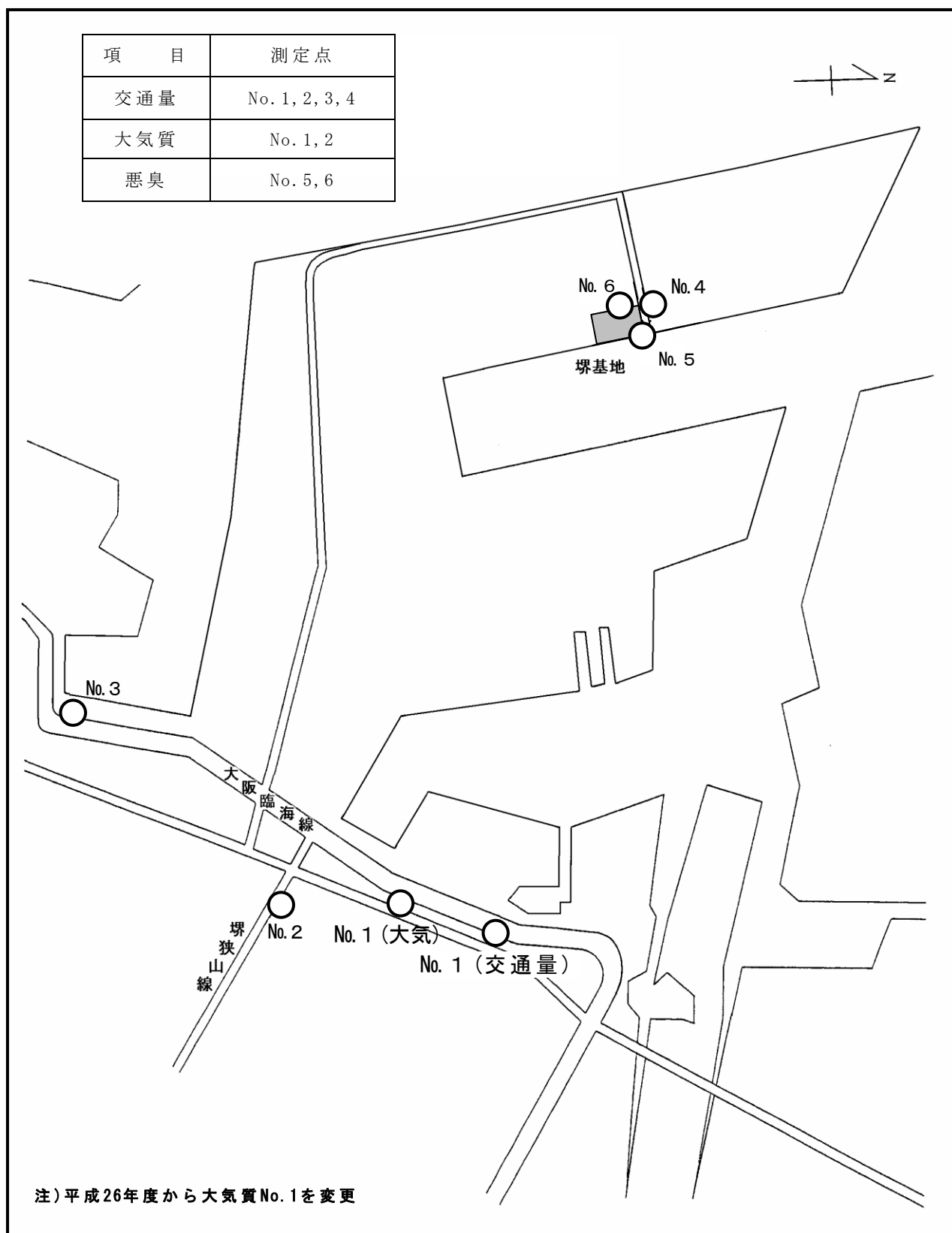


図 3 - 1 環境監視調査地点位置図 (堺基地)

2 環境監視結果

表 3 - 1 監視結果総括

				(堺基地 令和6年8月調査結果)			
測 定 点				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			8月20日	8月20日	8月20日	8月20日
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	3,186	1,842	2,628	61
		最 小 時 間 交 通 量		2,001	978	1,569	1
		総 交 通 量		24,450	14,353	20,688	217
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	7	4	4	55
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	0	1
		総 交 通 量		24	13	18	211
	廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.1	0.1	0.1
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			—	—	—	—
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 間 値	(dB)	—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 間 値		—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
	振動 (L_{10})	一 時 間 間 値		—	—	—	—
		時 間 平 均 値		—	—	—	—
大 気 質	調 査 日			8月20日～26日	8月20日～26日	—	—
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	0.003 ～ 0.005	0.004 ～ 0.007	—	—
		期間平均値		0.004	0.005	—	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	—	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	0.006 ～ 0.020	0.006 ～ 0.019	—	—
		期間平均値		0.012	0.012	—	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	0	0	—	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		0	0	—	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	0.011 ～ 0.021	0.008 ～ 0.017	—	—
		期間平均値		0.015	0.012	—	—
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数	(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数	(時間)	0	0	—	—
	風 速	日平均値	(m/s)	1.0 ～ 1.4	0.9 ～ 1.1	—	—
		期間平均値		1.2	1.0	—	—
	風 向	最多風向	16方位	N	WNW	—	—

表 3 - 2 交通量調査結果

(堺基地周辺 令和6年8月結果)

測定点	測定 年月日	測定 時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な 騒音源
			総交通量 注1)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車 混入率 (%)									
			大型車 (台)	大型車 以外 (台)	合計 (台)	大型車 混入率 (%)	全車両	大型車 以外	廃棄物 車/全 車両	注2)	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	
No.1 注3)	令和6年 8月20日	8:00	535	1,530	2,065	25.9	1	0	0.0	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	1,285	1,308	2,593	49.6	7	0	0.3	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	1,168	1,075	2,243	52.1	5	1	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	1,310	1,158	2,468	53.1	2	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	1,020	1,296	2,316	44.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	1,034	1,302	2,336	44.3	2	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	993	1,008	2,001	49.6	3	0	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	1,123	1,494	2,617	42.9	1	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	891	1,734	2,625	33.9	3	0	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	480	2,706	3,186	15.1	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	9,839	14,611	24,450	—	24	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	984	1,461	2,445	40.2	2.4	0.1	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2 注3)	令和6年 8月20日	8:00	186	792	978	19.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	412	924	1,336	30.8	4	0	0.3	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	547	996	1,543	35.5	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	464	960	1,424	32.6	2	0	0.1	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	543	1,104	1,647	33.0	3	0	0.2	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	324	895	1,219	26.6	1	1	0.1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	481	870	1,351	35.6	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	499	1,080	1,579	31.6	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	372	1,062	1,434	25.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	240	1,602	1,842	13.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	4,068	10,285	14,353	—	13	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	407	1,029	1,435	28.3	1.3	0.1	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3 注3)	令和6年 8月20日	8:00	602	1,668	2,270	26.5	2	0	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	771	798	1,569	49.1	3	0	0.2	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	1,126	1,152	2,278	49.4	4	0	0.2	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	1,065	1,104	2,169	49.1	3	0	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	936	840	1,776	52.7	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	872	1,014	1,886	46.2	2	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	932	984	1,916	48.6	2	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	692	1,344	2,036	34.0	2	0	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	648	1,512	2,160	30.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	312	2,316	2,628	11.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	7,956	12,732	20,688	—	18	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	796	1,273	2,069	38.5	1.8	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.4	令和6年 8月20日	8:00	15	0	15	100.0	15	0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	55	6	61	90.2	55	0	90.2	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	31	2	33	93.9	33	2	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	23	1	24	95.8	24	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	26	2	28	92.9	28	2	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	25	4	29	86.2	29	4	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	17	0	17	100.0	17	0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	9	0	9	100.0	9	0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	1	0	1	100.0	1	0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	202	15	217	—	211	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	22	2	24	93.1	23.4	1.0	97.2	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	

注:1) 総交通量は1時間値に補正したもの(一般車:10分間値×6 + 廃棄物車:1時間値)を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。

:2) 総交通量(大型車)に占める廃棄物車(大型車)の混入率を示す。

:3) 測定点No.1、No.2、No.3の廃棄物車数については、泉大津基地への搬入車両を含む。

大気質調査結果

表 3－3 二酸化硫黄測定結果 （令和6年8月20日～8月26日）

(堺基地 令和6年8月調査結果)					
測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月20日（火）	0.005	0.006	0.007	0.009
	8月21日（水）	0.005	0.006	0.006	0.008
	8月22日（木）	0.004	0.006	0.006	0.009
	8月23日（金）	0.004	0.005	0.005	0.007
	8月24日（土）	0.004	0.005	0.005	0.006
	8月25日（日）	0.003	0.004	0.004	0.006
	8月26日（月）	0.003	0.004	0.004	0.006
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.004		0.005	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.005		0.007	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.006		0.009	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

表 3－4 二酸化窒素測定結果 （令和6年8月20日～8月26日）

(堺基地 令和6年8月調査結果)					
測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月20日（火）	0.012	0.020	0.014	0.020
	8月21日（水）	0.020	0.034	0.019	0.039
	8月22日（木）	0.019	0.036	0.016	0.027
	8月23日（金）	0.011	0.020	0.009	0.013
	8月24日（土）	0.007	0.009	0.009	0.012
	8月25日（日）	0.006	0.007	0.006	0.012
	8月26日（月）	0.008	0.018	0.009	0.021
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.012		0.012	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.020		0.019	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.036		0.039	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0		0	
1 時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上、0.06ppm 以下の日数 (日)		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

表 3 - 5 一酸化窒素測定結果 (令和6年8月20日～8月26日)

(堺基地 令和6年8月調査結果)

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月20日 (火)	0.008	0.019	0.011	0.027
	8月21日 (水)	0.008	0.018	0.012	0.026
	8月22日 (木)	0.006	0.017	0.009	0.024
	8月23日 (金)	0.006	0.010	0.008	0.015
	8月24日 (土)	0.004	0.013	0.006	0.019
	8月25日 (日)	0.001	0.003	0.002	0.005
	8月26日 (月)	0.003	0.008	0.005	0.012
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.005		0.007	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.008		0.012	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.019		0.027	

表 3 - 6 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和6年8月20日～8月26日)

(堺基地 令和6年8月調査結果)

測 定 点		No. 1			No. 2		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	8月20日 (火)	0.019	60.9	0.036	0.025	56.3	0.045
	8月21日 (水)	0.028	71.4	0.044	0.031	61.6	0.048
	8月22日 (木)	0.025	76.3	0.044	0.025	65.8	0.050
	8月23日 (金)	0.016	64.6	0.030	0.017	51.2	0.027
	8月24日 (土)	0.010	64.4	0.017	0.014	62.0	0.028
	8月25日 (日)	0.007	81.6	0.010	0.008	77.6	0.015
	8月26日 (月)	0.011	70.2	0.023	0.013	65.2	0.031
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.017			0.019		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.028			0.031		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.044			0.050		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		69.6			61.4		

表 3－7 浮遊粒子状物質測定結果（令和6年8月20日～8月26日）

(堺基地 令和6年8月調査結果)					
測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別 値	8月20日（火）	0.013	0.020	0.010	0.039
	8月21日（水）	0.021	0.031	0.017	0.040
	8月22日（木）	0.018	0.030	0.017	0.045
	8月23日（金）	0.011	0.024	0.009	0.055
	8月24日（土）	0.013	0.021	0.008	0.019
	8月25日（日）	0.015	0.025	0.011	0.041
	8月26日（月）	0.013	0.028	0.009	0.020
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値 (mg/m ³)		0.015		0.012	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.021		0.017	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.031		0.055	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 3－8 風向・風速観測結果（令和6年8月20日～8月26日）

(堺基地 令和6年8月調査結果)

測 定 点		No. 1				No. 2				天候
項 目		風速			最多風向 (16方位)	風速			最多風向 (16方位)	
		平均風速 (m/s)	最大風速			平均風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日別値	8月20日 (火)	1.1	2.6	SW	N	0.9	1.9	WNW	WNW	晴一時雨、雷を伴う曇 晴一時曇 晴 晴一時曇 晴一時雨、雷を伴う 晴一時曇後一時雨
	8月21日 (水)	1.0	1.7	N	N	1.0	2.0	W	W	
	8月22日 (木)	1.1	2.1	N	N	1.0	2.3	WNW	WNW	
	8月23日 (金)	1.3	2.3	N	N	1.1	2.3	WNW	WNW	
	8月24日 (土)	1.2	1.9	NNE	NNE	1.0	1.8	W	W	
	8月25日 (日)	1.2	2.0	W	NE	1.1	2.3	W	NNE	
	8月26日 (月)	1.4	2.3	SSW, SSE	SSW	0.9	2.2	WNW, W	NNE	
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		1.2			—	1.0			—	
期間最大風速 (m/s)		2.6			—	2.3			—	
期間最多風向 (16方位)		—			N	—			WNW	

注 1）最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

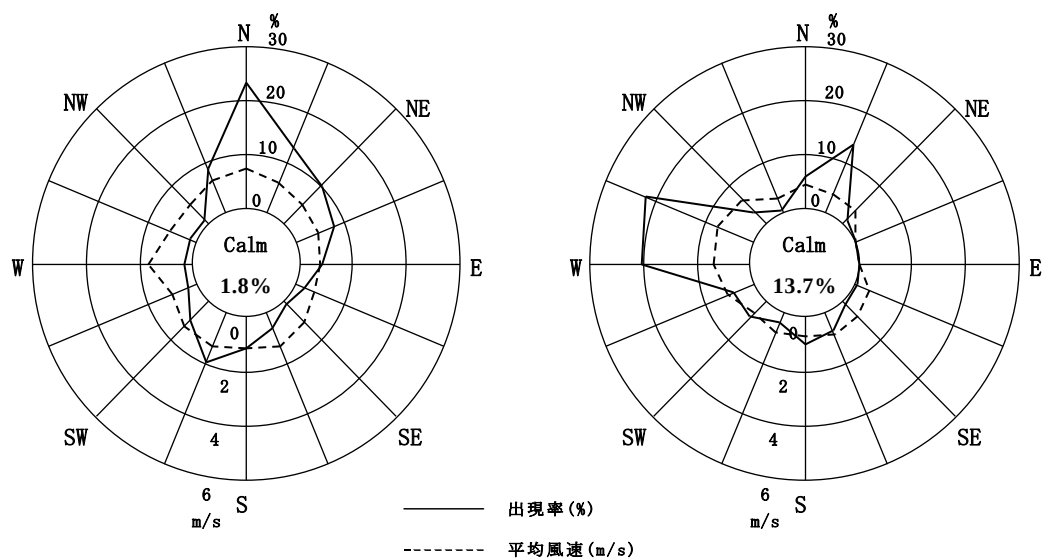
2）表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表 3 - 9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和6年8月20日～8月26日)

(堺基地 令和6年8月調査結果)

測定点		No.1			No.2		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風向	N	39	23.2	1.5	10	6.0	0.9
	NNE	22	13.1	1.2	23	13.7	0.7
	NE	17	10.1	1.0	2	1.2	0.7
	ENE	13	7.7	0.9	—	—	—
	E	7	4.2	0.8	—	—	—
	ESE	3	1.8	0.8	1	0.6	0.6
	SE	1	0.6	1.1	1	0.6	0.8
	SSE	5	3.0	1.3	6	3.6	0.9
	S	9	5.4	1.1	8	4.8	0.7
	SSW	16	9.5	1.3	3	1.8	0.8
	SW	8	4.8	1.3	7	4.2	0.6
	WSW	3	1.8	1.0	7	4.2	1.1
	W	3	1.8	1.7	34	20.2	1.4
	WNW	2	1.2	1.1	37	22.0	1.5
	NW	2	1.2	1.0	5	3.0	1.3
	NNW	15	8.9	1.3	1	0.6	0.6
calm		3	1.8	0.1	23	13.7	0.2
total		168	100.0	1.2	168	100.0	1.0

注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

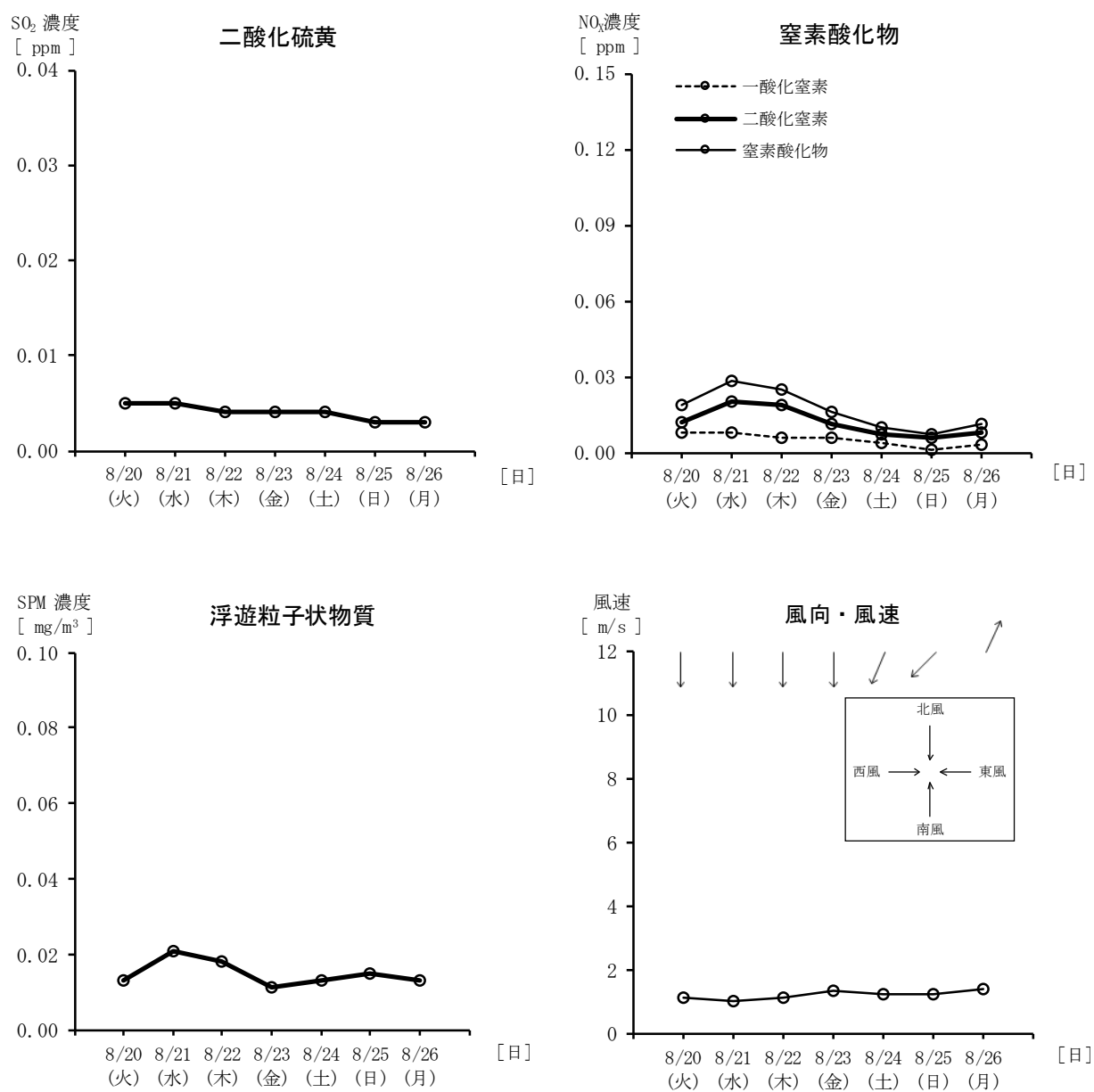


注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 No. 1

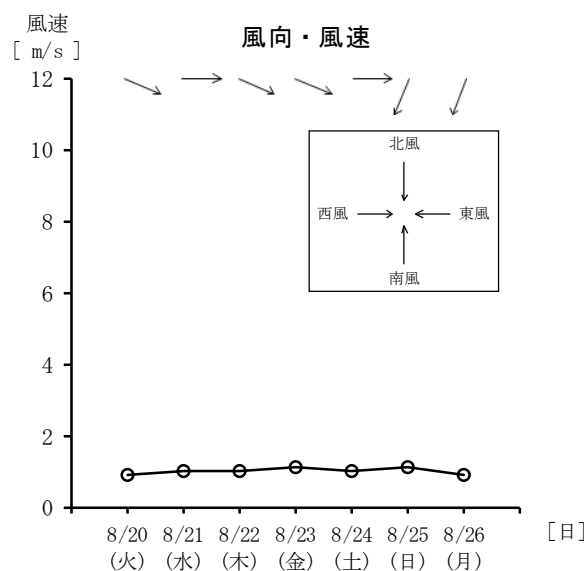
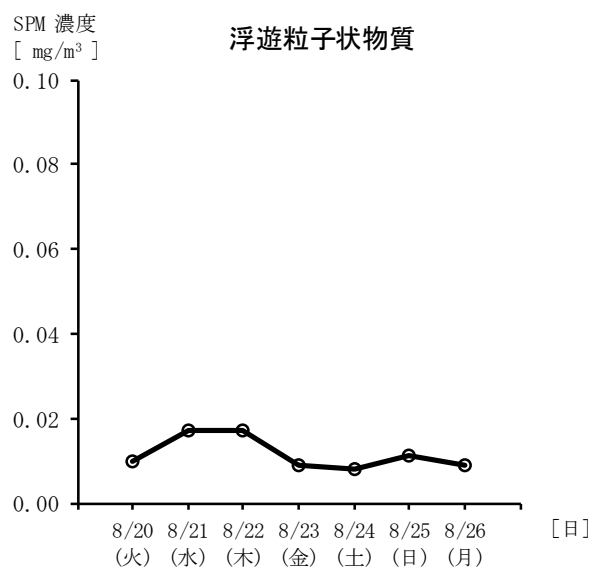
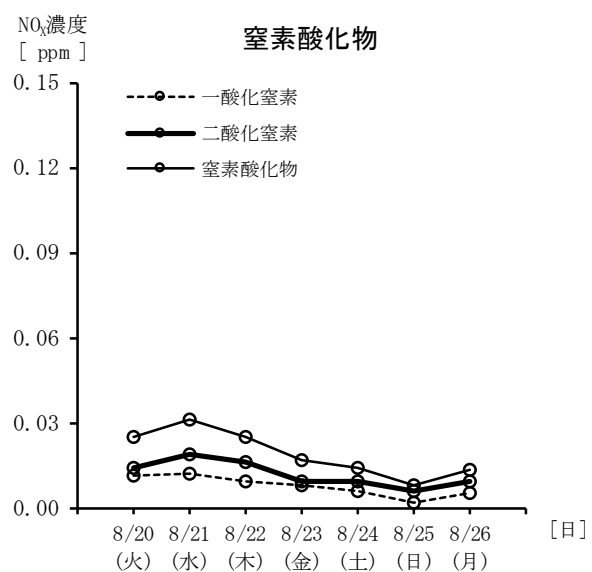
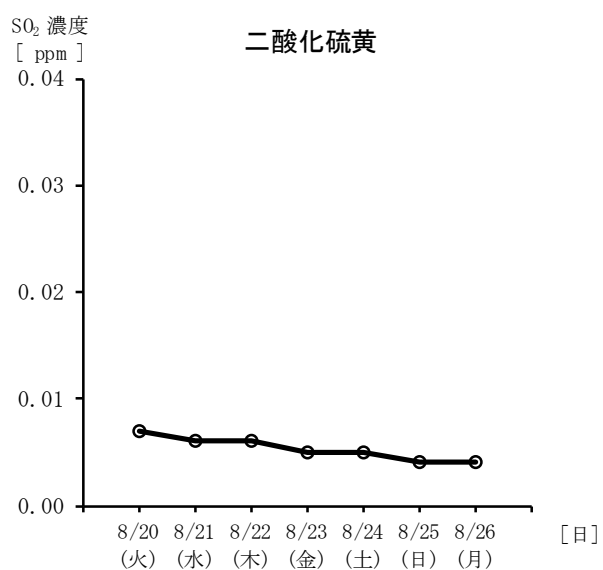
測定点 No. 2

図 3 - 2 風配図と風向別平均風速 (令和6年8月20日～8月26日)



測定点 No. 1

図 3 - 3 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年8月20日～8月26日)



測定点 No. 2

図 3 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年8月20日～8月26日)

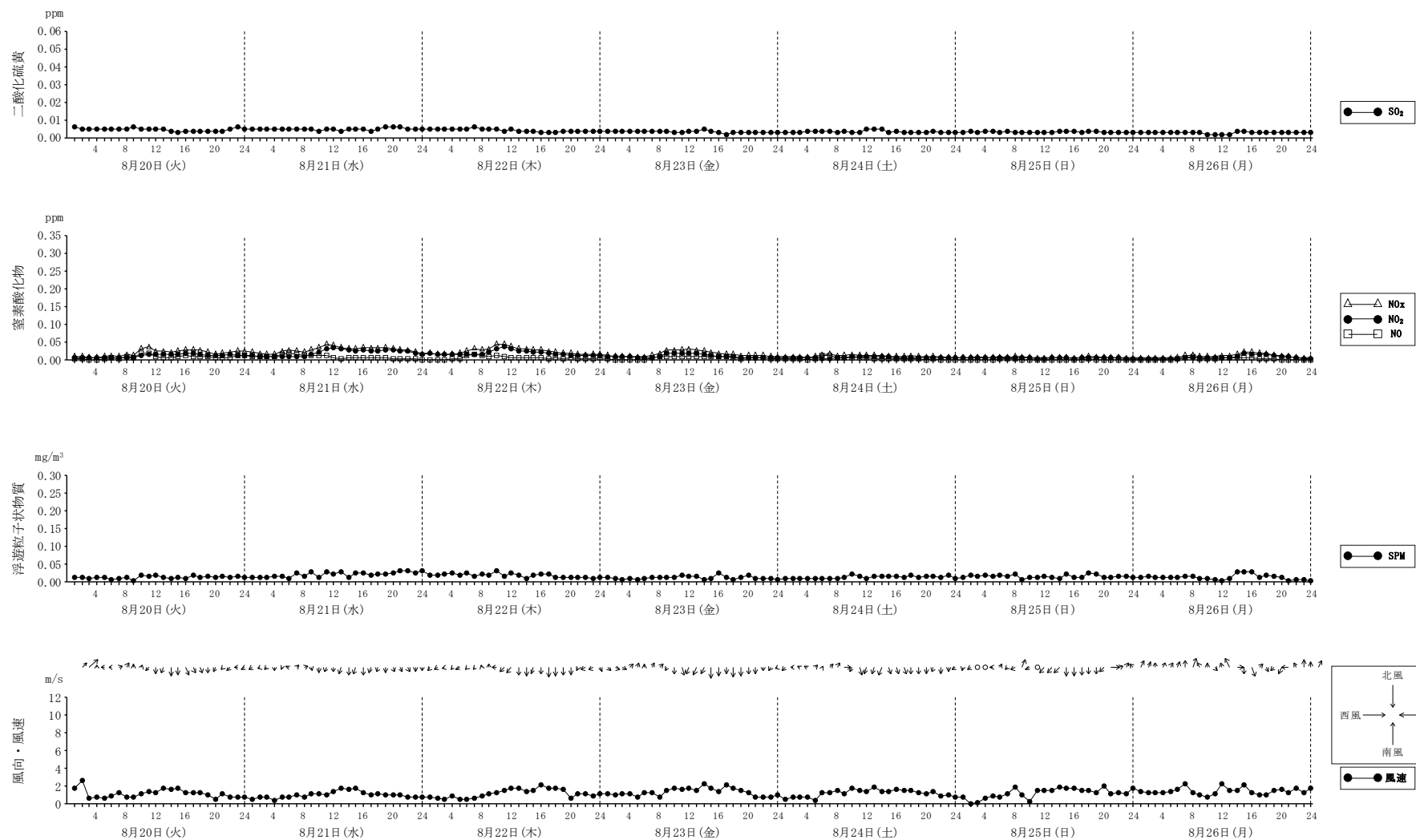


図 3 - 5 大気質・気象時系列変化図 (令和6年8月20日～8月26日) 測定点 No.1

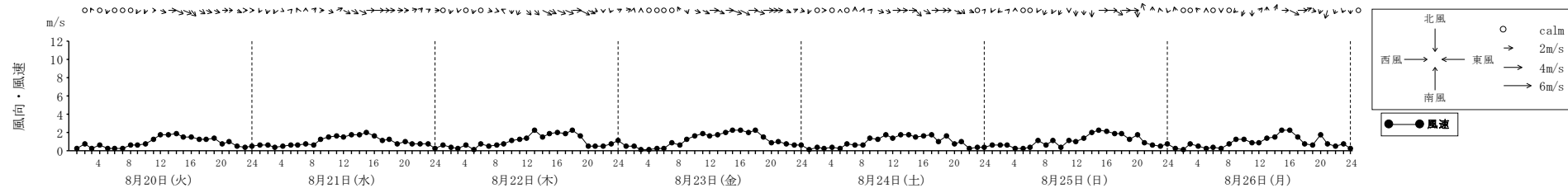
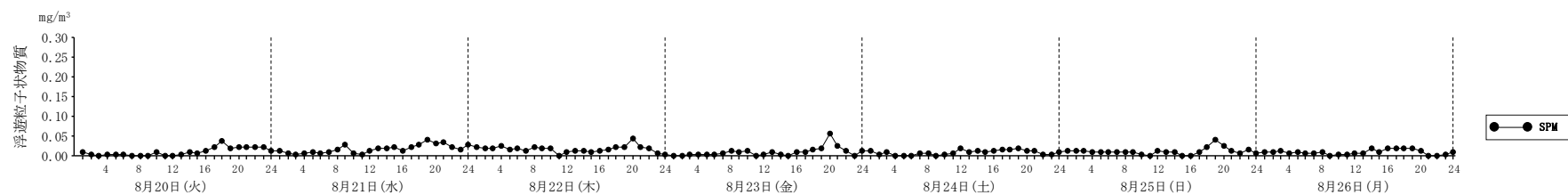
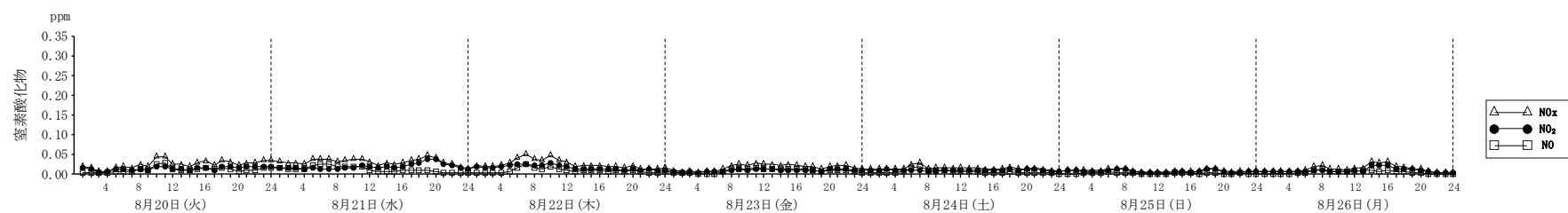
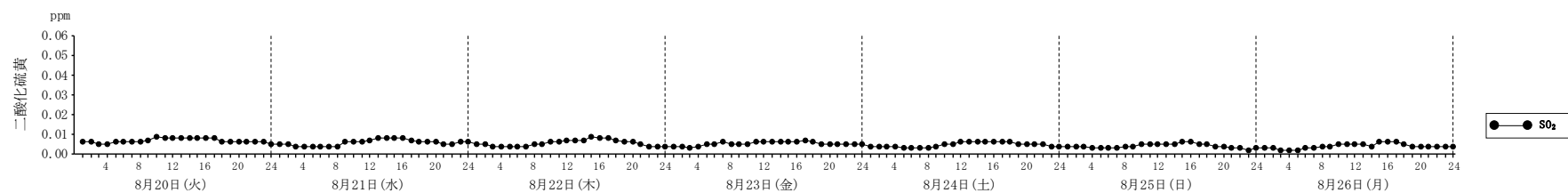


図 3－5 大気質・気象時系列変化図 （令和6年8月20日～8月26日） 測定点 No.2

表 3－10 悪臭結果

(堺基地)

測定日：令和6年8月21日

測 定 点		No. 5 (風下)	No. 6 (風上)
測 定 時 間		11:05	10:50
気 象	天 候(当日/前日)	晴/晴一時雨	晴/晴一時雨
	気 温	31.0℃	32.5℃
	湿 度	79%	79%
	風 向	西南西	西南西
	風 速	1.2m/s	0.8m/s
官 能 試 験	臭 気 濃 度	<10	<10
	臭 気 指 数	<10	<10
	臭 気 強 度	0	0
	臭 質	無臭	無臭

(注) 臭気濃度：人の嗅覚でその臭気を感じできなくなった時点の希釈倍数

臭気指数：臭気指数＝ $10 \times \log$ (臭気濃度)

官能試験時に求められた臭気強度である。

臭気強度：0 (無臭) ～5 (強烈な臭い) の6段階に区分